Peter David Beter · AA01–AA05

音声書簡の史料検証

第1〜80号を扱う五つの分析と、別資料としてGeminiの検証報告を収録した。各項目の判定は元の分析に基づく。翻訳は機械翻訳を用い、原文と要所を照合した。

目次

1. AA01 · Grok — 音声書簡第1〜80号の検証
2. AA02 · Claude — 主要な主張の独立検証
3. AA03 · ChatGPT — 人物像と主張の分析概要
4. AA04 · ChatGPT — 音声書簡第1〜80号の詳細な検証
5. AA05 · ChatGPT — 替え玉、ロボトイド、合成人間に関する主張の人名録
6. Gemini — Geminiによる100の仮説の検証（英語版全2ページ）

- **GREEN** · 独立した資料で確認できた事実
- **YELLOW** · 一部のみ確認、または解釈が分かれる
- **BLUE** · 証拠が足りず結論は保留
- **ORANGE** · 予測が外れた、または期限が過ぎた
- **RED** · 現存する資料と矛盾する
- **BLACK** · ベター自身の解釈で、独立した裏付けがない

音声書簡第1〜80号の検証

英語原版 · PDF

ピーター・デイヴィッド・ベター

音声書簡第1〜80号の検証

何が起きたのか、ベターが予測したこと、確認したこと、失敗したこと、そしてまだオープンな状態にあること

拡張・詳細な分析研究

Audio Letters 1-80 シリーズの全編を体系的にレビュー。

この文書は、Audio Letters 1-80シリーズ全体の体系的なレビューの結果です。防御も攻撃もしない。すべてのクレームはイベント自体、Beter氏の解釈、独立確認の程度に分離されている。

6月1975から11月1982までの音声レターが制作したアーカイブでは、約月間、シリーズは80を突破しました。

作業上の質問:Beter氏が、何かが背後で起こっていると主張したとき、今日では主要な文書で何が証明できるのでしょうか?

版:28 9月2026 — 英語版を拡大(スロバキア法監査の正確な翻訳)

出典:peterdavidbeter.com、NASA、GAO、NTSB、FAA、Reagan Library、FRUS、FDA、CDCなど。

1. 監査の主な結果

AL1–80を見直した後、最も正確な写真は、4つの層の混合物として表示されます。 (1) 実質的かつ頻繁に重要なイベント、(2) 注目すべき気道的またはテーマ的予測、(3) 分量的な秘密メカニズム、および(4) 後続的な歴史に失敗または競合する特定の予測。

一時的なヒットの強い例はAL68です:30 9月1981のBeterは、Sadatが暗殺に向かうと述べた; sadatは10月6で殺されました。 暗殺自体は独立して確認されます。 Beterの「プログラミング」のメカニズムと、アメリカの秘密のIsraeli計画が、利用可能なソースから従わない。

反対の端にAL78:原子力攻撃のための17 9月1982および厳密な時間15:00 EDTの正確な日付。 攻撃は発生しません。 AL79 は、期限が過ぎるとすぐにキャンセルされたと申し立てます。 計画された攻撃の存在の独立した証拠がなければ、この逆観的な解釈は確認としてカウントできません。

シャトルに関しては、写真が混在しています。 STS-1 は、公式の NASA データ、デプロイ可能なペイロード無しの開発飛行です。Beter の特定のバージョンのスパイ衛星は、利用可能なデータと一致しません。 同時に, STS-4 は、分類された DOD ペイロードを運びました, そのため、Butter's の一般的な観察シャトルの軍事寸法について実質的に持っていました.

結論文: ベターの文書には、実際の分析資料といくつかの注目すべき時間的ヒットが含まれたが、秘密に調整された戦争と核戦争の繰り返し予測という彼の壮大な計画は独立して確認されていない。

2. 方法論とレジェンド

• イベント前の証拠: ベターの主張は、イベントの前に明らかに日付付けされなければならない。

• イベント ≠ メカニズム:例えば、Sadatの暗殺は、秘密に計画した人の主張から別の事実です。

•主な情報源:政府のアーカイブ、調査、技術記録、現代の文書、元のBeterテキストに優先が与えられます。

• 予測の失敗は、まだ予測の失敗です。キャンセルの後の主張は、新しい証拠を必要とする新しい仮説です。

原資料の判定	判定の根拠
GREEN	独立した資料で確認できた事実
YELLOW	一部のみ確認、または解釈が分かれる
BLUE	証拠が足りず結論は保留
ORANGE	予測が外れた、または期限が過ぎた
RED	現存する資料と矛盾する
BLACK	ベター自身の解釈で、独立した裏付けがない

3. フォレンジックマトリクス:テストユニットの拡張セット

このマトリックスは意図的に大きなクレームを小さなテストに分解する。例えば「スペースシャトルは軍事的だった」や「STS-1は特定のレーザー衛星を運んだ」といったことは、明らかな問題ではない。以下は、最も重要なテストの選択です(フルマトリックスには100ユニット以上が含まれています)。

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
1	AL1–2	1975年6月までにロックフェラーがフォードに代わって大統領になる。	**ORANGE**	フォードは在任を続け、第2号は期限までに実現しなかったことを認めた。
2	AL1–2	フォートノックスの金はひそかにすべて持ち出された。	**RED**	米会計検査院（GAO）は現物棚卸しを記録し、在庫管理は適切と判断した。
3	AL1–2	ニューヨーク市の財政危機は実在した。	**GREEN**	市の深刻な財政危機は当時の史料で確認できる。
4	AL1–2	ロックフェラー家がニューヨーク市の危機をひそかに引き起こした。	**BLACK**	秘密工作が原因だとする独立した裏付けは得られていない。
5	AL11	パティ・ハーストは替え玉にすり替えられた。	**RED**	独立した証拠はない。
6	AL13–17	米国の水域内にソ連の核兵器があった。	**BLUE**	具体的な主張だが、独立した裏付けはない。
7	AL13	シール・ハーバーの近くに警備区域が設けられていた。	**GREEN**	当時の連邦記録は警備措置を裏付けている。
8	AL17–18	F-14に関係する事故でフェニックス・ミサイルが失われ、のちに発見された。	**GREEN**	海軍の記録は事故と捜索を裏付けている。
9	AL17–18	海軍はフェニックスの捜索にベターが示した正確な座標を使った。	**YELLOW**	注目に値するが、確認には当時の捜索・回収記録が要る。
10	AL18	レジオネラ症の発生は秘密の化学作戦だった。	**RED**	独立した調査はその説明を裏付けていない。
11	AL20	オアフ島近海にソ連のミサイルがあった。	**BLUE**	独立した裏付けはない。
12	AL24–25	米国の河川や湖に核機雷が敷設されていた。	**BLUE**	具体的な主張だが、裏付けとなる記録はない。
13	AL27	ソ連には衛星攻撃兵器（ASAT）の計画があった。	**GREEN**	史料で確認できる。
14	AL27	1977年9月27日に宇宙で戦闘があった。	**BLUE**	ベターの詳しい記述を独立に裏付ける証拠はない。
15	AL27	スカイラブはソ連の迎撃機によって破壊された。	**RED**	スカイラブは1979年まで軌道上にあった。
16	AL28	サダトはイスラエルと和平を結ぶよう心理的にプログラムされた。	**BLACK**	独立した証拠はない。
17	AL40	ジョーンズタウン事件は軍事作戦の一部だった。	**BLACK**	惨事は実際に起きたが、秘密の軍事作戦を示す記録はない。

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
18	AL42	ネルソン・ロックフェラーは暗殺された。	RED	その後の史料はこの主張と合致しない。
19	AL42	デイヴィッド・ロックフェラーは替え玉にすり替えられた。	RED	本人は2017年に死去した。
20	AL42	ローランス・ロックフェラーは替え玉にすり替えられた。	RED	本人は2004年に死去した。
21	AL42	ヨハネ・パウロ2世は替え玉にすり替えられた。	RED	現存する伝記資料はこの主張と矛盾する。
22	AL43	ヘンリー・キッシンジャーは殺され、別人にすり替えられた。	RED	本人は2023年に死去した。
23	AL44	テレビに出演したキッシンジャーは替え玉だった。	BLUE	当時の映像を使って検証できるが、確認されていない。
24	AL44	チェース・マンハッタン銀行は破綻するはずだった。	ORANGE	同銀行は営業を続けた。
25	AL45	スリーマイル島の事故は秘密作戦だった。	BLACK	事故は起きたが、秘密作戦が原因だとする記録はない。

原版のページ 4 / 12

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
26	AL46–47	人間が「合成人間」や「ロボトイド」にすり替えられていた。	RED	証拠はない。
27	AL48	スカイラブは1977年に破壊された。	RED	NASAの記録では、大気圏への再突入は1979年7月だった。
28	AL51	米ドルは深刻な経済的圧力を受けていた。	GREEN	当時のマクロ経済状況は史料に記録されている。
29	AL51	配備に向けて「合成自動人形」が用意されていた。	BLUE	独立した裏付けはない。
30	AL52	イラン革命は社会を根本的に変えた。	GREEN	確認されている。
31	AL52	ホメイニ政権はひそかに核戦争へ誘導されていた。	BLACK	独立した証拠はない。
32	AL53	米国による秘密の核攻撃が阻止された。	BLUE	具体的な主張だが、確認されていない。
33	AL54–56	ソ連は気象や地球物理現象を対米兵器に利用した。	BLUE	説得力のある独立した裏付けはない。
34	AL57	大統領指令PD-59は実在した。	GREEN	一次資料が現存する。
35	AL57	PD-59は直ちに先制核攻撃を行う計画だった。	BLACK	これはベターの解釈であり、文書にそのような内容が直接記されているわけではない。
36	AL57	1979年のヴェラ事件は月からの粒子ビーム攻撃だった。	BLUE	事件は起きたが、この説明は立証されていない。
37	AL58	イラン・イラク戦争は1980年9月22日に始まった。	GREEN	確認されている。
38	AL58	イラクはロックフェラー家から80億相当の金を受け取った。	BLUE	独立した裏付けはない。
39	AL59	米財務省と連邦準備制度の金会計は法的に複雑である。	GREEN	保管と会計の関係は実際に複雑である。
40	AL60	米国の銀行制度を崩壊させる秘密計画があった。	ORANGE	予告された期間内に崩壊は起きなかった。
41	AL61	レーガンの政権移行は隠れた派閥に妨害された。	BLACK	政権移行には実際に問題があったが、その派閥の関与を示す記録はない。
42	AL61	ブランティ対フィンケル判決は、政治的理由による解雇を制限した。	GREEN	ベターはこの判決の法的な意味を正しく捉えている。
43	AL62	STS-1は秘密の軍事偵察衛星を搭載していた。	RED	NASAは試験用の搭載物を記載し、軌道上で放出する搭載物はなかったとしている。
44	AL63–64	コロンビアは偵察用の傾斜角69度の軌道を飛行した。	RED	公表されているSTS-1の公式データと一致しない。

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
45	AL64	コロンビアは破壊され、エンタープライズとすり替えられた。	RED	コロンビアはその後も飛行を続けた。
46	AL65	教皇暗殺未遂には、より広い秘密の仕組みが関わっていた。	BLACK	暗殺未遂は実際に起きたが、ベターの因果説明を裏付ける記録はない。
47	AL66	1981年7月4日、ノルウェー海で米海軍の艦船2隻が撃沈された。	BLUE	結論は保留されており、確認には海軍の記録が必要である。
48	AL67	金の記録に1億6500万オンスの食い違いがあった。	YELLOW	ベターは具体的な差を示している。検証には計算を再現する必要がある。
49	AL67	1億6500万オンスの差は金の盗難を意味した。	BLACK	数量の差だけで盗難と断定することはできない。
50	AL68	1981年9月30日、ベターはサダトの暗殺を予言した。	GREEN	暗殺の6日前、ベターは政治的暗殺の危険について警告した。

原版のページ 5 / 12

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
51	AL68–69	サダト暗殺は米国とイスラエルによる秘密計画の一部だった。	BLACK	この説明に独立した裏付けはない。
52	AL70	連邦準備法は法定の定足数を欠くなかで可決された。	RED	公的記録は1913年12月23日の成立を示すが、ベターの定足数に関する説明を裏付けていない。
53	AL71	エア・フロリダ90便は中性子ビームの攻撃を受けた。	RED	米国家運輸安全委員会（NTSB）は雪や氷の影響と事故の経緯を記している。
54	AL73	STS-3はレーザー装置を使った秘密の軍事任務に成功した。	BLUE	ベターが具体的に主張した軍事面について、独立した裏付けはない。
55	AL74	フォークランド紛争は実際に起きた。	GREEN	当時の政府文書に詳しく記録されている。
56	AL74	サウスジョージア島には巨大な秘密基地があった。	BLUE	具体的な主張だが、確認されていない。
57	AL74	ロシアの「コスモスフィア」が英国艦を撃沈した。	BLUE	英国側の損失記録と作戦記録との照合が必要である。
58	AL75	STS-4は米国防総省の機密ペイロードを搭載した。	GREEN	NASAは現在、そのことを明記している。
59	AL75	STS-4は核戦争に向けた一歩だった。	BLACK	この因果関係を示す記録はない。
60	AL76	アレグザンダー・ヘイグは1982年6月25日に辞任した。	GREEN	レーガン大統領図書館の資料で確認できる。
61	AL76	ヘイグ辞任は戦争を阻止するための秘密クーデターの敗北を意味した。	BLACK	ベターの解釈で、独立に確認されていない。
62	AL77	パンアメリカン航空759便は「コスモスフィア」に撃墜された。	RED	FAAとNTSBはマイクロバーストに伴うウインドシアを挙げている。
63	AL78	「プロジェクトZ」は1982年9月17日に始まるはずだった。	ORANGE	予告された攻撃は起きなかった。
64	AL78	最初の水爆は米東部夏時間15時に爆発するはずだった。	ORANGE	予告された時刻に爆発は起きなかった。
65	AL79	「プロジェクトZ」は攻撃の5時間足らず前に中止された。	BLUE	これは事後的な説明であり、攻撃計画の存在を示す独立した証拠はない。
66	AL79	ベターのラジオでの警告が攻撃阻止に役立った。	BLUE	その因果関係を示す独立した記録はない。
67	AL79	サブラ・シャティーラでの虐殺は「プロジェクトZ」と関連していた。	BLACK	虐殺は実際に起きたが、核攻撃計画との因果関係を示す記録はない。
68	AL80	タイレノールには意図的にシアン化物が混入された。	GREEN	米食品医薬品局（FDA）と疾病対策センター（CDC）が事件とその影響を確認している。
69	AL80	タイレノール事件は地政学的な心理作戦だった。	BLACK	独立した裏付けはない。
70	AL80	新たな危機の連鎖が1984年初めに戦争を招くはずだった。	ORANGE	時期を指定した最後の大きな予測は実現しなかった。

追加年表と監査

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
71	クロノロジー	第1号の録音は6月の予告期限より前だった。	GREEN	そのとおりであり、したがって予測を検証できる。
72	クロノロジー	第2号は期限を過ぎた後に予測失敗の解釈を変えている。	GREEN	そのとおりで、第2号の本文にそう明記されている。
73	監査	GAOは1977年にフォートノックスの在庫の一部を現物検査した。	GREEN	監査記録がある。
74	監査	GAOは現物在庫の管理を適切と評価した。	GREEN	公式報告書に記載がある。
75	監査	すべての金を一点ずつ完全に監査した。	BLACK	その報告書からそこまで強い結論は導けない。
76	Phoenix	ベターは具体的な位置を示した。	GREEN	ベター本人が当時の音声書簡でそう述べている。
77	Phoenix	位置が一致したことは、海軍がベターの情報を使った証拠である。	BLUE	そうは言えず、作戦記録で確かめる必要がある。
78	Seal Harbor	ロックフェラー家の邸宅近くに警戒区域があった。	GREEN	当時の連邦政府による措置である。
79	Seal Harbor	警戒区域の存在は、ソ連の核兵器がそこにあった証拠である。	BLACK	そうではない。
80	ASAT	ソ連のASATは1977年に公に論じられていた戦略上の問題だった。	GREEN	当時の防衛政策資料がこれを裏付けている。
81	Skylab	NASAによると、スカイラブの大気圏再突入は1979年7月だった。	GREEN	そのとおりである。
82	Skylab	したがって、スカイラブが1977年10月に主張どおりの形で破壊されたとは考えられない。	GREEN	その後も物体として存在していた記録が判断を決定づける。
83	Rockefeller	ネルソン・ロックフェラーは1979年に死去した。	GREEN	史料に記録がある。
84	Kissinger	キッシンジャーは1979年以降も存命だった。	GREEN	長期間にわたる公的な活動記録がある。
85	ロボイド	ベターの「合成人間」を裏付ける技術的な証拠が公開されている。	RED	入手可能な資料にそのような証拠は見当たらない。
86	Iran	ホメイニの革命は公然と進行し、社会を大きく変えた。	GREEN	確認されている。
87	PD-59	PD-59は1980年7月に発令された。	GREEN	一次資料がある。
88	PD-59	その文書自体が核戦争を始める意図を証明している。	RED	文書だけからその結論が自動的に導かれるわけではない。
89	Vela	ヴェラ事件は実際に起きた。	GREEN	そのとおりである。
90	Vela	ベターの説明には独立した裏付けがある。	BLUE	そうではない。
91	イラン・イラク	戦争は第58号の録音前に始まっていたのか。	RED	いいえ。第58号の日付は1980年9月30日で、9月22日の開戦よりも後であった。
編集注. 資料に記載された日付では、戦争が始まったのは1980年9月22日で、第58号の録音は9月30日である。第91項の赤の判定または回答はこの前後関係と整合しない。ここでは元の判定を示した。				
92	イラン・イラク	したがって、第58号で戦争を未来の出来事として正確に予言することはできなかった。	GREEN	第58号の録音は紛争が始まった後だった。
93	Reagan	レーガンは1981年1月20日に大統領に就任した。	GREEN	確認されている。
94	Branti	ブランティ対フィンケルは実在する判決である。	GREEN	確認されている。
95	STS-1	STS-1は1981年4月12日に打ち上げられた。	GREEN	NASAの記録による。

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
96	STS-1	NASAの搭載物一覧では、軌道上で放出する搭載物は「なし」となっている。	**GREEN**	NASAのペイロード概要に記載がある。
97	STS-1	ベターは、発射前からソ連に対する偵察があったと述べた。	**GREEN**	第62号・第64号を参照。
98	STS-1	傾斜角69度の任務に関するベターの記述は検証可能である。	**GREEN**	軌道に関する具体的な主張が含まれている。
99	Sadat	第68号の録音は暗殺前に行われた。	**GREEN**	1981年9月30日と10月6日を比較すればよい。
100	Sadat	暗殺は1981年10月6日に起きた。	**GREEN**	大統領府の公式記録による。

4. ケーススタディ

A. ロックフェラー – フォード, 1975

21.6.1975 の AL1 は、フォードの出発と 6 月の Rockefeller の買収を想定しています。 15.7.1975のAL2は、期限が「失敗を注入する」と認めていますが、計画が続行すると主張しています。 これは、監査において、元の期限を維持し、後で再解釈を分離しなければならない理由の純粋な例です。

ステータス: ORANGE

B. Fort Knoxの特長

ゴールドの状態に関するベターの質問は、「金が消えた」という単純な主張よりも、より興味深いです。 GAOは、Fort Knox(1974年監査対象 〜21 % of the bar; 1975年以降連続監査)で、物理的な在庫と十分な在庫管理を報告しています。 これは、単純な秘密の空にするのではなく、すべての歴史的経理の問題が自動的に解決されるという意味ではありません。 23 9月1974の回帰検査で金の存在を確認しました。

ステータス: YELLOW / RED 特定のバージョンに応じて

C.フェニックス

ベターが失われたフェニックスについて記述することは、正確な座標と時間的クレームを含んでいるため、アーカイブテストの理想的な候補である。損失と後の回復の事実は独立して確認される。海軍がベターの情報を使用したかどうかは未だに不明である。元の操作ログが必要なのは、単なるロケーションの一致ではない。

ステータス: YELLOW

生年月日 Skylab

NASAは、Skylabが11.7.1979まで軌道に残っている文書で、その後、再入国に向けられました。 遺贈物はインド洋とオーストラリアに落ちました。 そのため、Skylabが1977で破壊されたという主張は、後続の物理的な歴史と直接矛盾しています。

ステータス: RED

E. キッシンガーとロックフェラーズ

ベットは、キシンガーが殺され、ダブル(AL43)に置き換えられたと主張した。 その後、キシンガーの人生の公正な文書化された歴史は、2023年に亡くなるまで、数十年続く。 同様に、David Rockefellerは2017年と2004年までローランスまで住んでいました。 ベータの「robotoids/synthetics」モデルの最もきれいなネガティブなテストの中でこれらのランク。

ステータス: RED

F. コロンビア STS-1

AL62 と AL64 は非常に詳細なバージョンが含まれています: 秘密のスパイ衛星, 69° 軌道, USSR の再認識と後にコロンビアの破壊の主張. NASA は、開発フライトとして STS-1 をリストし、公式のサマリー リストの展開可能なペイロード: どれも; 添付ペイロードは DFI、ACIP およびパッシブ サンプル配列でした。 コロンビアは、その後、さらなるミッション(STS-2、STS-3、STS-4...)を強調しました。

ステータス: RED Beterの特定のバージョンについて

G. 軍のシャトル

重要な修正: シャトルが軍事的寸法を持っていた一般的な要求は、発明ではありません。 NASA は、STS-4 が防衛ペイロードの分類された部門を実施したと述べています。 それ自体で、

しかし、レーザー兵器やベターのProject Zは確認しません。

ステータス: GREEN DoDのペイロードのため; BLACK / BLUE より広い理論のために

H. サーダット

AL68 は 30.9.1981 に記録され、サダットの時代に向かって「思いやりの政治」に関する明示的な声明が含まれています。 サーダットは、1981年6月10日付けで暗殺されました。 AL69 は、Beter が暗殺する前に警告を発したことを思い出させます。 これは、シリーズ全体で最強のテンポラルヒットの1つです。 同時に, 一時的な偶然だけで心理的なプログラミングのベータのメカニズムと秘密の米国 - イスラエルの計画を導き出すために使用することはできません.

ステータス: GREEN / YELLOW

I. Air Florida 90

AL71は、ロシア宇宙圏がニュートロンビームで航空機に当たると主張しています。 NTSB は、90 便が雪/氷で降りて橋とポトマックを襲った文書です。 ベータのメカニズムは調査によって支えられません。

ステータス: RED

J. South Georgia / フォークランド

AL74 ベータ版では、South Georgia は巨大な地下の海軍基地を雇い、英国の探検隊は Russo-Rockefeller チームと戦うことでした。 現代のFRUS文書は、実際のアルゼンチンの侵略と英国の応答を確認しますが、この隠されたベースではありません。

ステータス: GREEN 戦争のため; BLUE / BLACK 秘密基地のため

K. Pan Am 759

AL77 は、Pan Am 759 が Cosmosphere でヒットしたと主張しています。 FAAは、悪質な原因としてマイクロバースト誘発風器を挙げ、事故の経過を文書化します。

ステータス: RED

L. 17 9月 1982 (Project Z)

AL78は、原子力ストライキの17.9.1982および15:00 EDTの正確な日付を述べています。 予測が失敗した後、AL79は、攻撃の5時間以内に計画がキャンセルされたと主張し、ベータの朝の警告が助けられました。 攻撃の存在の独立した証拠がなければ、キャンセルは予測の確認としてカウントできません。

ステータス: ORANGE + BLUE

M. Tylenolの特長

AL80は1982のTylenolのシアン化物の毒の事実を正しく捕獲します。 FDAはシカゴで7つの死を報告し、タンパー耐性パッケージのその後の導入を報告します。 CDCは同じ歴史的イベントを報告します。 しかし、ベターの地政的解釈は、これによって確認されていません。

ステータス: GREEN イベントのため。 BLACK 通訳のため

N. PD-59 (代表的な指令 59)

正しくPD-59(7月1980)の存在を識別しました。 核戦略と「経理戦略」に関する文書が取引されます。 すぐに最初のストライキのための計画であるベターの解釈は、文書のテキストから自動的に従わないし、残っているBLACK.

ステータス: GREEN 文書の存在のために; BLACK ベターの解釈のための

O. ロボイド/合成物

AL46–47 以降、ベターは、キーパーソナリティがオーガニックロボイドに置き換えられたと主張しています。この論文は、彼のモデルに集中しています。 公的な技術的、フォレンジック的、またはそれをサポートするバイグラフィカルな証拠はありません。 続いて公開履歴(Kissinger 2023年、David Rockefeller 2017年など)が直接矛盾しています。

ステータス: RED

---

5. 80文字を渡って繰り返すパターン

• リアルイベント → 秘密のメカニズム:経済危機、事故、暗殺または軍の紛争は、すでに既存のスキームの明らかな要素になります。

個々の事実は非常に良いことがあります:戦略的な緊張が本当に存在する領域(ASAT、シャトルの軍事的寸法、PD-59、フォークランドなど)を良く指摘することがよくあります。

•メカニズムははるかに弱い:イベントが発生したという事実から、それは秘密の俳優Beter名によって引き起こされるという話は従わない。

• 失敗はしばしば再解釈された:もし予測が正しくなければ、攻撃は中止された、延期された、または隠蔽されたと伝えられる。

パブリックイベント、その不在、そしてその公式な否定がすべて確認として解釈できる場合、モデルはテストするのが非常に難しくなります。

このパターンはベターに固有のものではなく、多くの地政学的なモデルで見られる。その強みは、ほぼすべてのイベントを統合することができることです。その弱点は、改ざん不能になるため、科学的にテストすることが困難であることです。

6. デカデス/ブロックによるバランス

号の範囲	主題	評価
AL1–10	フォード/ロックフェラー、金、Fort Knox、経済。	最もクリーンな故障:ロックフェラー 6月 1975. 実質的な財務上の質問は興味深いままです。
AL11–20	米国水、レギオンナイレス、フェニックスのソ連の武器。	フェニックスは、オープンな技術的なケースです。原子力主張は独立した確認を欠きます。
AL21–30	水兵器、ASAT、コスモスインセプター、Skylab。	1977 で破壊されたSkylab は、後続の履歴で再利用されます。
AL31–40	宇宙戦争、ガイアナ/ジョーンズタウン、核戦争I。	大規模な地政学的スキームは成長しますが、秘密のメカニズムの独立した確認は弱くなります。

号の範囲	主題	評価
AL41–50	ロックフェラー、キシンガー、ロボノイド、Skylab。	後で文書化された歴史と最も特定の要求のコライドの多く。
AL51–60	イラン、アフガニスタン、気象戦争、PD-59、ベラ、イラクイラン戦争。	実際のイベント + 比類のない秘密の説明の顕著な層.
AL61–70	Reagan、金、コロンビア、Sadat、連邦準備区。	Sadat は強い一時的なヒットです。コロンビアは強い負のテストです。
AL71–80	Air Florida、シャトル、フォークランド、Pan Am、PROJECT Z、Tylenol。	STS-4 軍のペイロードは実質です; Air Florida/Pan Am/17.9.1982 は強い否定的なテストです。

7. 最も重要なオープンケース

• フェニックス: 元の海軍/NR-1 の検索ログ、回復レポート、およびベータの座標との一時的な一致。

• AL66:ノルウェー海に2隻のアメリカ軍艦を配備し、全米海軍の損失・被害と比較。

• 9 月 1977: コスモスの軌道再建 929 そして、すべての関連するアメリカの衛星.

• Fireball 18.10.1977:オブジェクトの独立した識別; Skylabは、後続の歴史を矛盾することなく説明として使用することはできません。

• コロンビア:STS-1の軌跡、マニフェスト、DD文書および現代テレメトリー記録の詳細な監査。

• 165万オンスの金:ベターの数学を元のTreasury/Fedテーブルから再構築するだけでなく、彼の解釈を採用する。

•キッシンジャーは二重:現代のテレビ記録、写真、タイムスタンプ、後の伝記記録の法医学的な比較。

•ブラウン/ペンタゴン:ベターの主張の内容が正しいかどうかの質問とは別に、手紙と会議の存在を確認します。

8. 本当に強い証拠を構成するもの

• Beterの特定の情報を含むイベントの前に作成されたオリジナルドキュメントまたはログ。

•ベター氏の特定の会議や連絡先を確認する独立した証人。

•正確なオブジェクト、座標、時間、またはペイロードを確認する技術記録。

• ベータのアーカイブに依存しない2番目の機関からの文書。

• ベターが緊張の一般的な領域だけでなく、正確な結果と時間 - そしてその結果が実際に発生したことを予測したケース。

逆に、イベントが「キャンセル」されたというレトロスペクティブの主張はそれ自体の証拠ではありません。公式版が不完全である、またはイベントが奇妙に見えるという証拠もありません。

9. 全体的な結論

AL1–80の後、ベターを理解するための最も正確な方法は、隠されたパワーグループに関する仮説と実際のイベントを組み合わせた広範な代替地政的および戦略的モデルの作者としてあります。 彼の観察の一部は暫定的または非公式に表れていました。 彼の最大の主張, しかしながら, 繰り返し後で歴史と衝突するか、独立した確認なしに残っています.

さらなる研究のための最も強力な正当な候補は、サダットです。30.9.1981のベータの日付は、暗殺の6日前です。 最も興味深い技術候補はフェニックスです。これは、運用レコードとの正確な座標の比較を可能にします。 最もクリーンなマイナスのテストは、Skylab、コロンビア、キシンガー/ロックフェラー、17.9.1982です。

最も重要な方法論的な教訓は、Beter氏の説明からBeter氏のシグナルを分離しなければならないことです。イベントやトレンドを正しく指しているという事実は、その原因を正しく説明しているとは言えない。

だからこそ、次の段階に進むことは理にかなっている: さらなる一般的な読み取りではなく、いくつかのオープンケースに関する深い一次監査。

10. ソース(選択)

• ベータ — メインアーカイブ — https://peterdavidbeter.com/

• ベター — オーディオレターのインデックス 1–80 — https://www.peterdavidbeter.com/docs/all/dbaltpcs.html

• Beter — 鳥の眼図 — https://www.peterdavidbeter.com/docs/all/dbeye.html

• ベータ — AL1 — https://www.peterdavidbeter.com/docs/all/dbal01.html

• ベータ — AL61-80 — https://www.peterdavidbeter.com/docs/all/dbal61.html dbal80.html を通して

• NASA — シャトルペイロード — https://www.nasa.gov/wp-content/uploads/2024/05/shuttle-payloads-and-experiments.pdf

---

• NASA — STS-4 — リリース https://www.nasa.gov/mission/sts-4/

• NASA — Skylab 再エントリー — https://www.nasa.gov/history/40-years-ago-skylab-reenters-earths-atmosphere/

• GAO — Fort Knox ゴールド在庫 — https://www.gao.gov/products/105954

•GAO—金地金準備高(FOD-75-10)の説明責任と物理的管理

• 連邦準備 — 連邦準備法 — https://www.federalreserve.gov/frrs/statutes/federal-reserve-act.htm

• Reagan Library — ヘイグ辞任 — https://www.reaganlibrary.gov/archives/speech/letter-accepting-resignation-alexander-m-haig-jr-secretary-state

• レオナルド・ライブラリー — サダット — https://www.reaganlibrary.gov/archives/speech/proclamation-4872-death-anwar-el-sadat

• FRUS — フォークランド — https://history.state.gov/historicaldocuments/frus1981-88v13/d43

• NTSB — Air Florida 90 — https://www.ntsb.gov/investigations/Pages/DCA82AA011.aspx

• FAA — Pan Am 759 — https://www.faa.gov/lessons_learned/transport_airplane/accidents/N726DA

• FDA — Tylenol — https://www.fda.gov/about-fda/histories-product-regulation/promoting-safe-effective-drugs-100-years

• CDC — シアン化物中毒 — https://www.cdc.gov/mmwr/preview/mmwrhtml/00001928.htm

• ウィキペディア(断面チェック) — Anwar Sadat、Peter David Beter のアサシネーション

11. リーダーへの注意

この文書は、過去の分析です。オープンな場合、それは意図的に不確実性を保っている。新しい一次文書が見つかれば、証拠に従って関連するステータスを変更し、文書がBeterの理論を支持するか弱めるかに応じて変更するべきである。この分析は網羅的ではない。厳密な検証には、海軍の原航海日誌やテレメトリー記録、その他の一次資料へのアクセスが必要となる。

Peter David Beter — 音声レターのフォレンジック監査 1–80 | 拡大英語版 | 28 9月 2026

主要な主張の独立検証

英語原版 · PDF

主要な主張の独立検証

利用可能な履歴記録に対する主要な主張の独立したレビュー。 バージョン: 26 9月 2026.

1. コンテクスト

Peter David Beter (1921–1987) は、米国弁護士とフィンナシエルでした。 輸出入銀行の元一般的な相談者、西バージニア州知事のための1968候補、およびドルに対するThe Conspiracyの著者(1973)。 1975と1982の間で、彼は80をおよそ1時間発行しました - 長いカセット「Audio Letters」は、彼は、米国と世界の制御のためのファクション(最終的に「ロックフェラーカルテル」とエーゲドソビエト - 「ボルシェヴィク」力)間の闘争に関する分類された情報へのアクセスを主張しました。 彼の最もよく知られ、最も極端な主張の中で:いくつかの公共の数字(David Rockefeller、Henry Kissinger、Jimmy Carter)は、生物学的「robotoids」に殺され、置換され、Nelson RockefellerがJFKの暗殺の背後にあること。

この分析の目的は(a)検証可能なイベント、(b)ベターの解釈または主張のメカニズム、および(c) イベントにマッチをさせることなく、独立確認の度合いが自動的にその説明を検証する。

2. 方法論

コードの意味

GREEN 独立した確認 YELLOW 部分的に確認/あいまい BLUE 開く、証拠の欠如 ORANGE 予測失敗 / 期限経過 RED 利用可能な証拠によって直接矛盾 BLACK 独立確認なしのベータの解釈(イベント自体が現実的である可能性があります)

予測の「確認」のための条件:クレームは、イベントの前に明らかに日付付けされ、メカニズムは、裸事実とは別に評価される必要がある。

3. 主要なクレームの行列の概要

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
1	JFK	ネルソン・ロックフェラーは、ドル切り下げと連邦準備制度に関わる政策を通すため、ケネディ大統領暗殺を仕組んだ。	**BLACK**	ウォーレン委員会や、その後の調査（1979年の下院特別委員会など）は、この説明を裏付けていない。

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
2	フォード・ロックフェラー 1975年	ネルソン・ロックフェラーが1975年6月までにフォードに代わる。	**ORANGE**	フォードは1977年1月まで大統領を務め、ロックフェラーは1976年選挙の副大統領候補から退いた。
3	Fort Knox	金はひそかにすべて持ち出された。	**RED**	GAOは保有金の一部を現物検査し、大規模な不足を示す証拠を見つけなかった。記者が金庫に入った1974年9月は、大半の音声書簡に先立つ。
4	ロボイド	キッシンジャー、デイヴィッド・ロックフェラー、カーターが殺され、「ロボトイド」にすり替えられた。	**RED**	キッシンジャーは2023年11月に100歳で亡くなるまで公に活動し、デイヴィッド・ロックフェラーは2017年に死去した。そのような技術の独立した技術的証拠はない。
5	Nelson Rockefeller	ネルソン・ロックフェラーはひそかに殺害された。	**RED**	1979年1月26日に心臓発作で死亡した。補佐役が同席した経緯をめぐって当時は憶測があったが、殺人を裏付ける独立資料はない。

原版のページ 3 / 8

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
6	Skylab	スカイラブは1977年にソ連の行動によって破壊された。	**RED**	NASAの記録では、スカイラブは軌道上にとどまり、1979年7月11日に再突入した。ベターの主張から約2年後、残骸はインド洋とオーストラリアに落ちた。
7	STS-1(コロンビア)	STS-1は秘密の偵察衛星を搭載し、傾斜角69度の軌道を飛んだ。	**RED**	1981年4月のSTS-1公式搭載表には開発飛行計測装置（DFI、ACIP）が載り、軌道上で放出する搭載物はない。実際の傾斜角は約40度だった。
8	STS-4	スペースシャトルには軍事面もあった。	**GREEN**	1982年のSTS-4は国防総省の機密ペイロードを実際に搭載した。この一般的指摘は正しいが、ベターの「レーザー」に関する具体的主張までは裏付けない。

原版のページ 4 / 8

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
9	Sadat	1981年9月30日、ベターは暗殺が迫っていると警告した。	**GREEN** / **YELLOW**	サダトは収録の6日後、1981年10月6日に暗殺された。時期の一致は注目されるが、「心理的プログラミング」や米国とイスラエルの秘密計画には独立した裏付けがない。
10	連邦準備法	1913年の連邦準備法は法定の定足数を満たさずに可決された。	**RED**	1913年12月23日の議会記録は、定足数が足りなかったとする主張を裏付けていない。
11	PD-59	1980年7月の大統領指令59は実在した。	**GREEN**	「対抗戦略」に関する実在の核戦略文書で、現在は一部が機密解除されている。
12	PD-59	その文書は即時の先制攻撃計画だった。	**BLACK**	機密解除部分が論じるのは標的選択の柔軟性である。先制攻撃計画と読むのはベター独自の解釈である。
13	Air Florida 90	エア・フロリダ90便は「中性子ビーム」に撃墜された。	**RED**	NTSBは1982年の報告で、翼の着氷と、同年1月13日の離陸前に乗務員が防氷・除氷措置を取らなかった判断を事故原因に挙げた。

原版のページ 5 / 8

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
14	Pan Am 759	パンアメリカン航空759便はソ連の「コスモスフィア」に撃墜された。	**RED**	NTSBとFAAは、1982年7月9日、ニューオーリンズを離陸後の墜落をマイクロバーストによる下降気流・ウインドシアに帰している。
15	フォークランド戦争	フォークランド紛争は1982年に起きた。	**GREEN**	歴史的に争いはなく、当時の外交文書（米国外交文書集FRUSなど）に詳細がある。
16	South Georgia	サウスジョージア島には大洋をまたぐ活動のための秘密基地が隠されていた。	**BLUE**	具体的な主張だが、独立した出典はない。
17	ハイグ	アレグザンダー・ヘイグは1982年6月25日に辞任した。	**GREEN**	レーガン政権の公式記録で確認できる。
18	Tylenol	1982年秋、シカゴでタイレノールへのシアン化物混入による中毒事件が起きた。	**GREEN**	FDAとCDCは7人の死亡と、その後に改ざん防止包装が導入されたことを確認している。
19	Tylenol	タイレノール事件は指揮された地政学的心理作戦だった。	**BLACK**	独立した証拠はない。公式には未解決事件だが、それはベターの示した説明を指すものではない。
20	AL78	核攻撃の時刻を1982年9月17日15時（米東部夏時間）と特定した。	**ORANGE**	予告された出来事は起きなかった。

原版のページ 6 / 8

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
21	AL79	攻撃は予告期限の直前に「中止」された。	**BLUE**	外れた予測を事後的に説明している。そもそも計画があったという独立した証拠がなく、反証可能性の典型的な問題である。

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
22	イラン革命	1979年、イランのシャーの政権が倒れた。	GREEN	歴史的に争いのない事実である。
23	イラン・イラク戦争	イラン・イラク戦争は1980年9月22日に始まった。	GREEN	ベターの報告は1980年9月30日で、すでに開戦後だった。将来の出来事を予測したことにはならない。
24	ヴェラ事件	1979年9月、ヴェラ衛星が閃光を観測した。	GREEN	観測は事実だが、決定的な説明はまだなく、南大西洋での核実験の可能性が挙げられる。「月からの粒子兵器」という説明には独立した裏付けがない。
25	1984年初頭新戦	1984年初めの新たな戦争を第80号で予告した。	ORANGE	予告は実現しなかった。

4. 短期症例研究

A.サダット(最も強いタイミングヒット)。 AL68 の 30 9 月 1981 は「思いやりの政治」を通じて、サダットの時代の到来の端を語ります。 エジプトのイスラム教徒がエジプトのイスラム教徒のジハドにリンクしたイスラム教の役員によって運ばれたカイロの軍隊のパレードの間に6 10月1981で行われた暗殺者。 タイミングは顕著で、この最も興味深い候補をさらなる研究にしていますが、"secret US-Israeli plan" への直接的な因果リンクは、文書化されていないままです。

攻撃者は、ベターとは独立したイデオロギー的および国内政治的動機(主にイスラエルとの平和条約と内政抑圧)から行動した。

B.Skylabおよびコロンビア(最もきれいなマイナステスト)。 どちらのケースも、ベターのバージョンを直接矛盾する正確で公正な検証可能なNASAの日付を持っています。 Skylabは、ベターが「破壊され、コロンビア(「企業によって破壊され、置き換えられた」ではありません)が、2003年まで21のミッションをさらに強調しました。

C. ロボイド これは、最も極端な主張であり、テストするのが最も簡単です。今では、キシンガー(2023)とDavid Rockefeller(1970年代に死亡の主張に反する2017)の広範な独立文書化された伝記があります。

D. Air Florida/Pan Am (技術的な否定的なテスト)。 両方の空気災害は、ベータの「ビーム兵器」メカニズムのための部屋を離れる技術的に再構築された原因(氷結;下水)で詳細なNTSB / FAA調査報告を持っています - これは、証拠が欠落しているが、既存の証拠の直接的な矛盾はありません。

E. PD-59およびシャトルの軍の次元。 ここのベターは、一般的なレベル(柔軟なターゲティングのために適応された核的戦略、シャトルの軍事使用)で、より具体的にドラマチックな解釈(第一次計画、コロンビアのレーザー兵器)は、主要な文書がサポートしているものを超えて行く。

5. 再帰パターン

80文字すべてで、同じ構造が繰り返される: (1) 現実の、しばしばよく選ばれた出来事や緊張、(2) 既存の秘密派派生物のスキームの中に置かれ、(3) 予測が失敗したとき - 再解釈(「攻撃は中止された」、「計画は妨害された」)ではなく、エラーの承認である。イベントとその非発生の両方を確認として読み取ることができるため、モデルが改ざんすることが難しくなります。

6. コンクルージョン

ベターは、彼の時代の地政学的緊張のいくつかの実際の点(宇宙の軍事的寸法、米国の核戦略、イラン/イラクおよびフォークランドでの戦争の勃発)を正しく登録し、サダットのタイミングマッチは合法的に顕著である。彼の特定の因果機構、すなわち二重または「ロボティクス」による交換による秘密殺人、正確な日付と核攻撃の座標、空中衝突の背後にある「ビーム武器」技術は、後に記録された歴史によって直接否定されるか、自身のアーカイブの外にある独立した情報源なしで残される。

7. 選択されたソース

• NASA — Skylab のリエントレーション: nasa.gov/history (Skylab のリエンター 地球の雰囲気) • NASA — STS-1 のペイロードの概要: nasa.gov (Shuttle のペイロードと実験) • NTSB — Air Florida 90 (DCA82AA011): ntsb.gov

---

• FAA/NTSB — パン・アム 759: faa.gov/lessons_learned • FDA — 薬物規制の歴史 (Tylenol): fda.gov • Reagan Library — Haig 辞任、Sadat の死: reaganlibrary.gov • GAO — フォート・ノックス 金在庫: gao.gov/products/105954 • Wikipedia / Grokipedia — ピーター・デビッド・ベターの伝記 • 元のオーディオレターアーカイブ: petertover.com

注:これは、ユーザーが他のアシスタントから以前に入手した同様の文書とは独立して作成された作業履歴分析です。新しい一次文書が現れた場合は、ステータスを改訂する必要があります。

人物像と主張の分析概要

ピーター・デイヴィッド・ベター

人物と主張の総合的な分析概要（2026年9月時点）

この文書は、公開資料とこれまでの調査結果の要約です。文書化された事実、ベター自身の主張、分析的な結論に意図的に分割される。例外的な請求は自動的に受け入れられたり拒否されることはありません。

3. 相互に理解されるべきもの

彼の仕事はUFOに減らせない。オーディオレターの本体は、陸地政治、経済、軍事、戦略に関するものである。

経済:ドル、金、インフレ、債務、国際金融、そして通貨の力。

•政治:ワシントン、大統領、議会、電力ネットワーク、そして国際的利益。

•軍事問題:核兵器、潜水艦、スパイ活動、秘密作戦、および米国とソ連の戦略的なバランス。

宇宙:軍用衛星、粒子ビーム兵器、コスモスインターセプター、秘密宇宙基地、宇宙での戦争の疑い。

•後の技術:合成、人工的な人間のコピー、そして人のためのロボットの交換。

UFO/ETの主題は存在しますが、仕事の彼の全身でそれらは1つの部分だけを表わします。 したがって、宇宙と技術を彼のモデルに異常な主張を組み込んだ政治的戦略的な陰謀の評論者として彼を理解することはより正確です。

1. WHO WASの PETER DAVID BETER

Peter David Beter(6月21、1921 - 3月14、1987)は、アメリカの弁護士、財務および国際的なコンサルタントであり、後に政治的および経済の評論家でした。 ウェストバージニア大学で勉強し、ジョージ・ワシントン大学のジュリス・ドクターを獲得した、ハンティントン、ウェスト・バージニアに生まれ。 1951年に始まり、ワシントンの法的な慣行を記述し、アメリカン・ゴールド協会の法的な相談として働きます。

1961年、いくつかの伝記的情報源によれば、彼はアメリカ合衆国輸出入銀行の法務顧問に任命され、1967年までその職にあった。退社後、海外のビジネスや鉱山プロジェクトなど、国際法務・金融コンサルティングに従事。オーディオレター以前には、彼は政府や財政と関係のない未知の部外者ではなかった。

ワシントン・ポストは1979年にワシントンの経歴と政治発展について概説した。1968年、ウェストバージニア州知事選挙に出馬し、後の説明では、この経験は政治と権力に関する彼の見解にとって重要な転換点となった。

これまでの我々の仕事は、元イム銀行で彼がサービスしていると疑われた問題も調べている。公開Ex-Im Bank FOIAログは、Beter氏の記録に関する2009年の要求が存在することを確認している。調査で分析した別の回答では、銀行は検索に関連のある記録は見つからなかったと述べた。これは、伝記的な主張が一次アーカイブに対してテストされるべき理由の良い例です。

2. パブリック・コミュニケーションエーターへのトランスフォーメーション

1973年には『ドルに対する陰謀論』を出版した。主なテーマは、金融と経済の出来事は単に市場の成果であるだけでなく、主要な金融と政治の利益の間で組織的な力と結びついていたという考え方であった。

1975年6月から、彼はオーディオレターを発行し始めた。1982年までは放送中断が続いた。アーカイブには数十の問題が含まれており、Beter氏の主張を時系列的にフォローすることが可能だ。初回音声

書簡ではすでに、その目的を説明しています:彼の見解では、大衆は、彼は隠れたプロセスを説明することを試みながらニュースの表面を追跡します。

ベターは、出来事について単にコメンテーターとして自己紹介をすることをやめ、自身のモデル「内部ニュース」を作り出しました。パブリックイベントの背後には、連絡先や情報が一般に入手できないという、広範なバックステージの現実があった、と氏は言う。

4. どうしても問題がありますか?

彼の本当の内的動機は、単一の文書では立証できない。それでも、彼自身は、自らを一般の人に警告する役割を持つ人物だと考えたと、自身の声明は示している。戦争の差し迫ったこと、経済の崩壊、隠された権力活動について、彼はしばしば急な口論をした。

1979年のワシントン・ポスト紙は1968年の選挙運動の後、彼の政治的変革についての説明を記録。ベターは従来の政党政治は不十分であり、実際の意思決定は公共政治の外で行われると徐々に確信するようになった。

彼のコミュニケーションスタイルも重要です。彼は非常に確実で、特定の日付、名前、技術名称、年表を使用した。これにより彼の物語の説得力は高まる。同時に、同じ特性が客観的なテストの機会を作り出します。日付、場所、オブジェクト、メカニズムを付けると、これらはアーカイブデータと比較することができます。

5. 強烈で威力を発揮する

強度:内部の一貫性。 たとえば、Skylab、コスモス・インターセプター、秘密の宇宙戦争の物語が異なるオーディオ・レターに登場し、一つのコヒーレント・モデルを形成します。 ベターは、後から遡及して10年以上も変化し始めなかった。

弱点: 疑わしい秘密の情報源への膨大な依存。弊社が彼の原告情報提供者または文書にアクセスできない場合、クレームは非常に具体的であり、依然として検証不能である可能性があります。

したがって、一貫性は真実の証明として扱われるべきではありません。それにもかかわらず、それは歴史的に重要なものです。それはBeter氏が特定の時間に主張したことと、後で付け加えたものを正確に追跡することができます。

6. SKYLAB、COSMOSのインターセプター、およびOCTOBER 18、1977

これまでのところ、ベターのメソッドの最高のフォレンジックテストです。 オーディオレター27で、10月29、1977、イベントの後に11日だけ、ベターは、米国の部分で観察された巨大な消防が破壊された85トンSkylabであったと主張しました。 彼によると、ソビエト・コスモス・インターセプターによって撮影された。 また、NASAは、Skylabのカバーストーリーを継続して軌道に留まっていることを主張しました。

現代のAPレポートは、火球自体を実際のイベントとして文書化しました。テキサス州、オクラホマ州、ルイジアナ州、アーカンソー州、ミズーリ州で観察されました。 USAFパイロットウィリアム・ラサムは、約16,000フィートからそれを見た。 オブジェクトは、彼のコックピットを照らし、分離しました。 FAAと戦略的航空コマンドはレーダー検出を報告しました。 マクドナルド天文台のアストロンマー・ジョー・パターソンがメテラーとして確認しました。

この区別は非常に重要です: 消防の存在はよく文書化されています。そのアイデンティティは別の質問です。したがって、調査中の4つの仮説を分離しました。自然気象、別の人工流出物オブジェクト、Skylab、およびベターのコスモスインターセプターによるSkylabシュートダウンの特定のシナリオ。

NASA の技術文書は、Skylab の軌道上の進化を再構築しました。 1977年、太陽活動の増加、大気のドラッグの増加、軌道の崩壊の加速について説明しています。 しかしながら、1977年10月の現代的な予測は、Skylabが1979/1980に下がると予想される。 従量的追跡は、7月1979で実際の再入国につながりました。

そのため、現在入手可能な証拠は、Skylabとして消防士の識別をサポートしていません。 同時に、我々は、オブジェクト06633と10月18、1977に再エンターできるすべての人工的なオブジェクトのための歴史的NORAD軌道データを探して、より精密なテストを継続しています。 詳しくはこちら

科学的には 一方の権限だけで 事件を解決したいのです

7. ハーベスト・ムーンとコスモス・インターセプターの戦い

ベターは、9月27、1977で、ソビエトが粒子ビーム武器の使用によって決定的な利点を得ている秘密の主要な宇宙の戦いが行われたと主張しました。 その後、このイベントを10月の衛星イベントとSkylabを説明する基礎として使用しました。

その後、ソビエトが10月1977で複数のコスモスインターセプターを配備し、アメリカの偵察衛星を破壊したと主張した。 私たちは、この特定の軍の慢性婦人科を確認するために、まだ公に利用可能な証拠を発見していません。

一方、アメリカとソ連がこの期間に広範囲にわたる軍事および偵察宇宙計画を運営したことは歴史的に問題ない。したがって、ベターの主張要素を「秘密兵器は存在しなかった」といった単一の議論で拒否するのではなく、要素ごとに検討することが適切である。問題は、彼が説明した特定のデバイス、時間、能力、および操作が独立したトレースを残すかどうかです。

8. 私たちが誇る他の領域

Project Zと月面基地:ベターは、月の秘密アメリカンとソ連の軍事活動の詳細なクロノロジーを作成しました。 現在、特定のバージョンを確認する独立した証拠はありません。 それにもかかわらず、個々の技術的な仮定を別々にテストすることを意味します。.

セミパラチンスクとソ連軍用施設: これらの主張は、ソ連の核と軍事施設の実在を、ベターの目的に関する特定の解釈と区別する必要がある。

KAL 007、ジョーンズタウン/グアイアナ、その他の出来事: 公に知られた出来事と秘密の軍事作戦や情報作戦を結びつけることが望ましい。ここでも、最良のアプローチは、時系列再構成と現代の文書との比較である。

合成物/robotoids: これは、彼の後者のモデルの最も極端な部分の1つです。 これまで調べた情報源では、ベターが説明する意味で、そのような人間の代替物の存在について独立した証拠はありません。

9. マイ・オーバーオール・ビュー・オブ・ビュー・オブ・ベータ

今まで調べたことのすべてから、彼を信じるべき人や、自動的にだましとられるべき人など、決して対象にしない。どちらのショートカットも、より興味深い現実を隠すことになる。

ベターは、法務、財政、政治の経験が豊富でした。彼は自身の見解を幅広く主要なアーカイブとして作成し、数十年後には特定の主張をした。歴史上の興味深い資料である。同時に、彼のシステムには、独立した確認がまだ欠けている非常に多くの異常な主張が含まれています。

ベターは、おそらく、広範囲に隠された権力システムが存在することを心から信じ、それを一般大衆に警告する彼の仕事だと考えていた。事実機密情報を持っていたのか、後に誤解された部分的な真実情報を受けたのか、あるいはシステムの大部分を自分で構築したのかは、まだ決定的ではない。

もっとも興味深いのは、氏の主張が、ふつうは遡及的にテストされるほど具体的であることだ。ですから、私は「彼を信じるか?」と問うのではなく、「どの個人が独立した証拠と対立して生き残るか」という問いかけをすることで、さらなる調査をしません。

10. コンセプトを望む方法

オーディオレター1-82を時系列で調べ、初登場日を明記した特定のクレームのデータベースを作成します。

各クレームに対して、別々: ベータのクレーム → 独立して事実を文書化 → それらの間の関係が可能。

宇宙イベントの場合、近代的で回顧的に外挿された軌道ではなく周期軌道データを使用する。

政治イベントについては、議会、FOIA、裁判所記録、NASA、NRO、軍事アーカイブ、現代の報道機関などの主要な文書を探してください。

Beterが特定の日付、場所、または技術的な詳細を与えた場合に特に注意してください。これらは彼の信頼性の最も強いテストを提供します。

11.一文の結論

Peter David Beterは、政治と知的転換点の後に、アメリカの弁護士と財務の専門家でした。非常に自信の独立評議員になり、隠された政治金融界の広範なモデルを構築しました。 彼の専門的背景、彼の主張の一部の初期の外観、 そして、内部の一貫性は深刻な調査に値しますが、彼の異常な主張の真実は独立した証拠によって決定されなければなりません。

メインコース

• Peter David Beter オーディオレターアーカイブ: https://www.peterdavidbeter.com/

• オーディオレター1: https://www.peterdavidbeter.com/docs/all/dbal01.html

• 可聴周波手紙27: https://peterdavidbeter.com/docs/all/dbal27.html

• 可聴周波手紙36: https://peterdavidbeter.com/docs/all/dbal36.html

• ワシントンポスト、4月15、1979、Peter Beterのプロファイル。

•米国の輸出入銀行、FOIAログ2009-2016。

• NASA NTRS — Skylab 軌道の崩壊に関する技術的な文書。

注:この文書は、これまでの調査の合成です。Beter自身のアーカイブに頼っている場合、それは彼の主張を説明し、それらの主張が真実であることを確認するものではありません。

音声書簡第1〜80号の詳細な検証

ピーター・デイヴィッド・ベター

音声書簡第1〜80号の詳細な検証

何が起きたのか、ベターが予測したこと、確認したこと、失敗したこと、そしてまだオープンな状態にあること

読解と共有のための包括的な分析研究

この文書は、Audio Letters 1-80シリーズ全体の体系的なレビューの結果です。ベターに対する防御でも攻撃でもない。各クレームは、基礎となるイベント、Beter氏の解釈、独立確認の程度に分離されている。

6月1975から11月1982までの音声レターが生成されたアーカイブは、約毎月、シリーズは80で終了したと述べています。 出典:ベターアーカイブとそのシリーズ紹介。

作業上の質問:Beter氏が、何かが背後で起こっていると主張したとき、今日では主要な情報源から何ができるのか、そして彼の主張だけが残されているのか?

スロバキア語版の英語翻訳 • 28 9 月 2026

1. 監査の主な結果

AL1–80を見直した後、最も正確な写真は4つの層の混合物であるように見えます:(1)実質的かつ頻繁に重要なイベント、(2)注目すべき気道的またはテーマ的予測、(3)分光分秘密メカニズム、および(4)材料化されていない特定の予測または後続的な歴史によって矛盾しています。

気道の打撃の強い例はAL68です:30 9月1981のBeterは、Sadatが暗殺に向かうと述べた;Sadatは6 10月に暗殺されました。 暗殺自体は独立して確認されます。 Beterの「プログラミング」の仕組みと、アメリカの秘密のIsraeli計画は、利用可能なソースから従わない。

反対側にはAL78:正確な日付、17 9月1982、正確な時刻、15:00 EDTは、原子力攻撃のために与えられました。 攻撃は発生しません。 AL79 は、期限を過ぎるとすぐにキャンセルされたことを主張しました。 計画された攻撃が実際に存在する独立した証拠がなければ、この逆観的な再解釈は確認として扱われることができません。

シャトル写真は混在しています。 STS-1 は、デプロイ可能なペイロードなしで開発飛行として、公式の NASA 素材で記述されています。そのため、Butter の特定のバージョンでは、スパイ衛星が関与しているため、利用可能なデータには一致しません。 同時に、STS-4は本当に防衛ペイロードの分類された部門を運びました。そのため、シャトルが軍事的な次元を持っていたことをベータのより広い観察は、実際の基礎でした。

ボトムライン:ベターアーカイブには、実際の分析資料といくつかの印象的な時間的観察が含まれていますが、密かに調整された戦争の包括的なモデルと、核戦争の繰り返し予測は独立して確認されていません。

2. 方法論と伝説

• イベント前の証拠: ベターの声明は、イベントの前に明らかに日付が付けられなければなりません。

• イベント ≠ メカニズム: たとえば、Sadat の暗殺は、秘密にそれを計画した主張から別の事実です。

•主な情報源:政府のアーカイブ、調査、技術記録、現代の文書、そしてBeterの元のテキストが優先されます。

• 予測の失敗は依然として失敗の予言である: イベントがキャンセルされたという後の主張は、新たな証拠を必要とする新しい仮説である。

原資料の判定	判定の根拠
GREEN	独立した資料で確認できた事実
YELLOW	一部のみ確認、または解釈が分かれる
BLUE	証拠が足りず結論は保留
ORANGE	予測が外れた、または期限が過ぎた
RED	現存する資料と矛盾する
BLACK	ベター自身の解釈で、独立した裏付けがない

3. フォレンジック行列:100テスト単位

マトリックスは意図的に大きなクレームを小さなテストに分解します。例えば「スペースシャトルは軍事的だった」や「STS-1は特定のレーザー衛星を運んだ」といったことは、明らかな問題ではない。

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
1	AL1–2	1975年6月までにロックフェラーがフォードに代わって大統領になる。	**ORANGE**	フォードは在任を続け、第2号は期限までに実現しなかったことを認めた。
2	AL1–2	フォートノックスの金はひそかにすべて持ち出された。	**RED**	米会計検査院（GAO）は現物棚卸しを記録し、在庫管理は適切と判断した。
3	AL1–2	ニューヨーク市の財政危機は実在した。	**GREEN**	市の深刻な財政危機は当時の史料で確認できる。
4	AL1–2	ロックフェラー家がニューヨーク市の危機をひそかに引き起こした。	**BLACK**	秘密工作が原因だとする独立した裏付けは得られていない。
5	AL11	パティ・ハーストは替え玉にすり替えられた。	**RED**	独立した証拠はない。
6	AL13–17	米国の水域内にソ連の核兵器があった。	**BLUE**	具体的な主張だが、独立した裏付けはない。
7	AL13	シール・ハーバーの近くに警備区域が設けられていた。	**GREEN**	当時の連邦記録は警備措置を裏付けている。
8	AL17–18	F-14から失われたフェニックス・ミサイルが、のちに発見された。	**GREEN**	海軍の記録は事故と捜索を裏付けている。
9	AL17–18	海軍はフェニックスの捜索にベターが示した正確な座標を使った。	**YELLOW**	注目に値するが、確認には当時の捜索・回収記録が要る。
10	AL18	レジオネラ症の発生は秘密の化学作戦だった。	**RED**	独立した調査はその説明を裏付けていない。
11	AL20	オアフ島近海にソ連のミサイルがあった。	**BLUE**	独立した裏付けはない。
12	AL24–25	米国の河川や湖に核機雷が敷設されていた。	**BLUE**	具体的な主張だが、裏付けとなる記録はない。
13	AL27	ソ連には衛星攻撃兵器（ASAT）の計画があった。	**GREEN**	史料で確認できる。
14	AL27	1977年9月27日に宇宙で戦闘があった。	**BLUE**	ベターの詳しい記述を独立に裏付ける証拠はない。
15	AL27	スカイラブはソ連の迎撃機によって破壊された。	**RED**	スカイラブは1979年まで軌道上にあった。
16	AL28	サダトはイスラエルと和平を結ぶよう心理的にプログラムされた。	**BLACK**	独立した証拠はない。
17	AL40	ジョーンズタウン事件は軍事作戦の一部だった。	**BLACK**	惨事は実際に起きたが、秘密の軍事作戦を示す記録はない。
18	AL42	ネルソン・ロックフェラーは暗殺された。	**RED**	その後の史料はこの主張と合致しない。
19	AL42	デイヴィッド・ロックフェラーは替え玉にすり替えられた。	**RED**	本人は2017年に死去した。

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
20	AL42	ローランス・ロックフェラーは替え玉にすり替えられた。	RED	本人は2004年に死去した。
21	AL42	ヨハネ・パウロ2世は替え玉にすり替えられた。	RED	現存する伝記資料はこの主張と矛盾する。
22	AL43	ヘンリー・キッシンジャーは殺され、別人にすり替えられた。	RED	本人は2023年に死去した。
23	AL44	テレビに出演したキッシンジャーは替え玉だった。	BLUE	当時の映像を使って検証できるが、確認されていない。
24	AL44	チェース・マンハッタン銀行は破綻するはずだった。	ORANGE	同銀行は営業を続けた。
25	AL45	スリーマイル島の事故は秘密作戦だった。	BLACK	事故は起きたが、秘密作戦が原因だとする記録はない。
26	AL46–47	人間が「合成人間」や「ロボトイド」にすり替えられていた。	RED	証拠はない。
27	AL48	スカイラブは1977年に破壊された。	RED	NASAの記録では、大気圏への再突入は1979年7月だった。
28	AL51	米ドルは深刻な経済的圧力を受けていた。	GREEN	当時のマクロ経済状況は史料に記録されている。
29	AL51	配備に向けて「合成自動人形」が用意されていた。	BLUE	独立した裏付けはない。
30	AL52	イラン革命は社会を根本的に変えた。	GREEN	確認されている。
31	AL52	ホメイニ政権はひそかに核戦争へ誘導されていた。	BLACK	独立した証拠はない。
32	AL53	米国による秘密の核攻撃が阻止された。	BLUE	具体的な主張だが、確認されていない。
33	AL54–56	ソ連は気象や地球物理現象を対米兵器に利用した。	BLUE	説得力のある独立した裏付けはない。
34	AL57	大統領指令PD-59は実在した。	GREEN	一次資料が現存する。
35	AL57	PD-59は直ちに先制核攻撃を行う計画だった。	BLACK	これはベターの解釈であり、文書にそのような内容が直接記されているわけではない。
36	AL57	1979年のヴェラ事件は月からの粒子ビーム攻撃だった。	BLUE	事件は起きたが、この説明は立証されていない。
37	AL58	イラン・イラク戦争は1980年9月22日に始まった。	GREEN	確認されている。
38	AL58	イラクはロックフェラー系の関係者から80億ドル相当の金を受け取った。	BLUE	独立した裏付けはない。
39	AL59	米財務省と連邦準備制度の金会計は法的に複雑である。	GREEN	保管と会計の関係は実際に複雑である。

原版のページ 3 / 8

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
40	AL60	米国の銀行制度を崩壊させる秘密計画があった。	ORANGE	予告された期間内に崩壊は起きなかった。
41	AL61	レーガンの政権移行は隠れた派閥に妨害された。	BLACK	政権移行には実際に問題があったが、その派閥の関与を示す記録はない。
42	AL61	ブランティ対フィンケル判決は、政治的理由による解雇を制限した。	GREEN	ベターはこの判決の法的な意味を正しく捉えている。
43	AL62	STS-1は秘密の軍事偵察衛星を搭載していた。	RED	NASAは試験用の搭載物を記載し、軌道上で放出する搭載物はなかったとしている。
44	AL63–64	コロンビアは偵察用の傾斜角69度の軌道を飛行した。	RED	公表されているSTS-1の公式データと一致しない。
45	AL64	コロンビアは破壊され、エンタープライズとすり替えられた。	RED	コロンビアはその後も飛行を続けた。
46	AL65	教皇の「暗殺」には、より大きな秘密の仕組みが関わっていたとの主張。	BLACK	原表は「暗殺」は実際にあったと記しているが、ベターの因果説明には裏付けがないとしている。

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
編集注. 第46項を、AA01は「暗殺未遂」、AA04は「暗殺」と記している。ヨハネ・パウロ2世は1981年5月13日の銃撃を生き延びた。 Vatican.va				
47	AL66	1981年7月4日、ノルウェー海で米海軍の艦船2隻が撃沈された。	BLUE	結論は保留されており、確認には海軍の記録が必要である。
48	AL67	金の記録に1億6500万オンスの食い違いがあった。	YELLOW	ベターは具体的な差を示している。検証には計算を再現する必要がある。
49	AL67	1億6500万オンスの差は金の盗難を意味した。	BLACK	数量の差だけで盗難と断定することはできない。
50	AL68	1981年9月30日、ベターはサダトの暗殺を予言した。	GREEN	暗殺の6日前、ベターは政治的暗殺の危険について警告した。
51	AL68–69	サダト暗殺は米国とイスラエルによる秘密計画の一部だった。	BLACK	この説明に独立した裏付けはない。
52	AL70	連邦準備法は法定の定足数を欠くなかで可決された。	RED	公的記録は1913年12月23日の成立を示すが、ベターの定足数に関する説明を裏付けていない。
53	AL71	エア・フロリダ90便は中性子ビームの攻撃を受けた。	RED	米国家運輸安全委員会（NTSB）は雪や氷の影響と事故の経緯を記している。
54	AL73	STS-3はレーザー装置を使った秘密の軍事任務に成功した。	BLUE	ベターが具体的に主張した軍事面について、独立した裏付けはない。
55	AL74	フォークランド紛争は実際に起きた。	GREEN	当時の政府文書に詳しく記録されている。
56	AL74	サウスジョージア島には巨大な秘密地下基地があった。	BLUE	具体的な主張だが、確認されていない。
57	AL74	ロシアの「コスモスフィア」が英国艦を撃沈した。	BLUE	英国側の損失記録と作戦記録との照合が必要である。
58	AL75	STS-4は米国防総省の機密ペイロードを搭載した。	GREEN	NASAは現在、そのことを明記している。
59	AL75	STS-4は核戦争に向けた一歩だった。	BLACK	この因果関係を示す記録はない。
60	AL76	アレグザンダー・ヘイグは1982年6月25日に辞任した。	GREEN	レーガン大統領図書館の資料で確認できる。
61	AL76	ヘイグ辞任は戦争を阻止するための秘密クーデターの敗北を意味した。	BLACK	ベターの解釈で、独立に確認されていない。
62	AL77	パンアメリカン航空759便は「コスモスフィア」に撃墜された。	RED	FAAとNTSBはマイクロバーストに伴うウインドシアを挙げている。
63	AL78	「プロジェクトZ」は1982年9月17日に始まるはずだった。	ORANGE	予告された攻撃は起きなかった。
64	AL78	最初の水爆は米東部夏時間15時に爆発するはずだった。	ORANGE	予告された時刻に爆発は起きなかった。
65	AL79	「プロジェクトZ」は攻撃の5時間足らず前に中止された。	BLUE	これは事後的な説明であり、攻撃計画の存在を示す独立した証拠はない。
66	AL79	ベターのラジオでの警告が攻撃阻止に役立った。	BLUE	その因果関係を示す独立した記録はない。
67	AL79	サブラ・シャティーラでの虐殺は「プロジェクトZ」と関連していた。	BLACK	虐殺は実際に起きたが、核攻撃計画との因果関係を示す記録はない。
68	AL80	タイレノールには意図的にシアン化物が混入された。	GREEN	米食品医薬品局（FDA）と疾病対策センター（CDC）が事件とその影響を確認している。
69	AL80	タイレノール事件は地政学的な心理作戦だった。	BLACK	独立した裏付けはない。
70	AL80	新たな危機の連鎖が1984年初めに戦争を招くはずだった。	ORANGE	時期を指定した最後の大きな予測は実現しなかった。
71	クロノロジー	第1号の録音は6月の予告期限より前だった。	GREEN	そのとおりであり、したがって予測を検証できる。
72	クロノロジー	第2号は期限を過ぎた後に予測失敗の解釈を変えている。	GREEN	そのとおりで、第2号の本文にそう明記されている。
73	監査	GAOは1977年にフォートノックスの在庫の一部を現物検査した。	GREEN	監査記録がある。

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
74	監査	GAOは現物在庫の管理を適切と評価した。	GREEN	公式報告書に記載がある。
75	監査	すべての金を一点ずつ完全に監査した。	BLACK	その報告書からそこまで強い結論は導けない。
76	Phoenix	ベターは具体的な位置を示した。	GREEN	ベター本人が当時の音声書簡でそう述べている。
77	Phoenix	位置が一致したことは、海軍がベターの情報を使った証拠である。	BLUE	そうは言えず、作戦記録で確かめる必要がある。
78	Seal Harbor	ロックフェラー家の邸宅近くに警戒区域があった。	GREEN	当時の連邦政府による措置である。
79	Seal Harbor	警戒区域の存在は、ソ連の核兵器がそこにあった証拠である。	BLACK	そうではない。

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
80	ASAT	ソ連のASATは1977年に公に論じられていた戦略上の問題だった。	GREEN	当時の防衛政策資料がこれを裏付けている。
81	Skylab	NASAによると、スカイラブの大気圏再突入は1979年7月だった。	GREEN	そのとおりである。
82	Skylab	したがって、スカイラブが1977年10月に主張どおりの形で破壊されたとは考えられない。	GREEN	その後も物体として存在していた記録が判断を決定づける。
83	Rockefeller	ネルソン・ロックフェラーは1979年に死去した。	GREEN	史料に記録がある。
84	Kissinger	キッシンジャーは1979年以降も存命だった。	GREEN	長期間にわたる公的な活動記録がある。
85	ロボイド	ベターの「合成人間」を裏付ける技術的な証拠が公開されている。	RED	入手可能な資料にそのような証拠は見当たらない。
86	Iran	ホメイニの革命は公然と進行し、社会を大きく変えた。	GREEN	確認されている。
87	PD-59	PD-59は1980年7月に発令された。	GREEN	一次資料がある。
88	PD-59	その文書自体が核戦争を始める意図を証明している。	RED	文書だけからその結論が自動的に導かれるわけではない。
89	Vela	ヴェラ事件は実際に起きた。	GREEN	そのとおりである。
90	Vela	ベターの説明には独立した裏付けがある。	BLUE	そうではない。
91	イラン - イラク	戦争は第58号の録音前に始まっていた。	RED	はい。第58号の日付は1980年9月30日で、9月22日の開戦よりも後だった。
編集注. 資料に記載された日付では、戦争が始まったのは1980年9月22日で、第58号の録音は9月30日である。第91項の赤の判定または回答はこの前後関係と整合しない。ここでは元の判定を示した。				
92	イラン - イラク	したがって、第58号で戦争を未来の出来事として正確に予言することはできなかった。	GREEN	第58号の録音は紛争が始まった後だった。
93	Reagan	レーガンは1981年1月20日に大統領に就任した。	GREEN	確認されている。
94	Branti	ブランティ対フィンケルは実在する判決である。	GREEN	確認されている。
95	STS-1	STS-1は1981年4月12日に打ち上げられた。	GREEN	NASAの記録による。
96	STS-1	NASAの搭載物一覧では、軌道上で放出する搭載物は「なし」となっている。	GREEN	NASAのペイロード概要に記載がある。
97	STS-1	ベターは、発射前からソ連に対する偵察があったと述べた。	GREEN	第62号・第64号を参照。
98	STS-1	傾斜角69度の任務に関するベターの記述は検証可能である。	GREEN	軌道に関する具体的な主張が含まれている。

番号	号数・主題	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
99	Sadat	第68号の録音は暗殺前に行われた。	GREEN	1981年9月30日と10月6日を比較すればよい。
100	Sadat	暗殺は1981年10月6日に起きた。	GREEN	大統領府の公式記録による。

4. 詳細なケーススタディ

A. ロックフェラー – フォード, 1975

AL1 の 21 6 月 1975 予想フォードの出発と 6 月の Rockefeller の買収。 AL2 の 15 7 月 1975 は、計画が続行を主張している間、期限が「失敗を注入」だったことを既に認めました。 これは、元の期限が後で再解釈から保存され、分離されなければならない理由のきれいな例です。

ステータス: ORANGE

B. Fort Knoxの特長

ゴールドの状態に関するベターの質問は、単純な主張よりも興味深いです「金は消えました」。 GAOは、Fort Knoxで物理的な在庫と十分な在庫管理を文書化します。 これは、すべての履歴経理の問題が自動的に解決されるという意味ではありませんが、悪意を空にする単純な秘密の写真を弱めます。

ステータス: YELLOW / RED 特定のバージョンに応じて

C.フェニックス

ベターが失われたフェニックスについて記述することは、正確な座標とタイミングクレームを含んでいるため、理想的なアーカイブテストである。発見と死傷者は別々に確認されている。海軍がベターの情報を使用したかどうかは疑問である。単なる地理的マッチではなく、オリジナルの運用ログが必要です。

ステータス: YELLOW

生年月日 Skylab

NASAの文書はSkylabは、11 7月1979まで軌道に残り、その後、再入国のために向けられました。 遺贈物は、インド洋とオーストラリアに落ちました。 そのため、Skylabが1977で破壊されたという主張は、後続の物理的履歴と直接対立しています。

ステータス: RED

E. キッキシンガー

ベターはキッシンジャーが殺害され、ダブルに置き換えられたと主張した。その後、キッシンジャーの生涯に関する公的な歴史は、2023年に死ぬまで何十年にもわたって記録されている。これはBeter氏のモデルの最もクリーンなネガティブテストのひとつだ。

ステータス: RED

F. コロンビア STS-1

AL62 と AL64 は、高度な詳細なバージョンが含まれています: 秘密のスパイ衛星, 69° 軌道, USSR の再構成, 後にコロンビアが破壊されたと主張. NASA は、開発飛行として STS-1 を記述し、公式の要約は、導入可能なペイロードをリストしません。 付属のペイロードには、DFI、ACIP、パッシブサンプル配列が含まれます。 コロンビアは、その後、追加のミッションを飛び込みます。

ステータス: RED Beterの特定のバージョンについて

G. 軍のシャトル

重要な修正: シャトルが軍事的な次元を持っていた一般的な要求は、虚偽ではない。 NASA は、STS-4 が防衛ペイロードの分類された部門を保有していることを述べています。 これにより、ベータのレーザー・武器の解釈が確認されるわけではありません。

ステータス: GREEN / YELLOW

H. サーダット

30 9月 1981 ベットは、サダットを含む政治の暗殺について警告した。 サーダットは、6 10月で暗殺されました。 これは、シリーズの中で最も強い気道的な例の1つです。 ベータの提案されたメカニズムまたは秘密のスポンサーは、未承認のままです。

ステータス: GREEN タイミングのため; BLACK メカニズムのため

I. Air Florida 90

AL71は、ロシア宇宙圏がニュートロンビームで航空機を襲ったと主張しています。 NTSB は、90 便が雪/氷で降り、橋とポトマックにクラッシュした文書です。 ベータのメカニズムは調査によって支えられません。

ステータス: RED

J. South Georgia / フォークランド

AL74 ベータ版では、South Georgia は巨大な地下の海軍基地を隠し、英国の探検隊はロシア・ロックフェラーチームを率いたと主張しています。 現代のFRUS文書は、実際のアルゼンチンの侵略と英国の応答を確認しますが、疑わしい隠されたベースではありません。

ステータス: GREEN 戦争のため; BLUE / BLACK 秘密基地の主張のために

K. Pan Am 759

AL77 は、Pan Am 759 が Cosmosphere に襲われたと主張しています。 FAA材料は、マイクロバースト誘発されたウインドシャーを確率的原因として識別し、事故のシーケンスを文書化します。

ステータス: RED

L. 17 9月 1982

AL78は正確な日付17 9月1982および核の殴打のための15:00 EDTを与えます。 AL79、予測が失敗した後、計画が攻撃の5時間以内にキャンセルされたと主張し、そのベターの朝の警告が助けられました。 攻撃が存在するという独立した証拠がなければ、キャンセルは確認としてカウントできません。

ステータス: ORANGE + BLUE

M. Tylenolの特長

AL80 正しく事実を捕獲します 1982 シアン化物中毒の関与 Tylenol. FDAとCDCは、シカゴで7つの死とタンパー耐性パッケージのその後の開発を文書化しました。 ベータの地政的解釈は確認されていません。

ステータス: GREEN イベントのため。 BLACK 通訳のため

5. パターンは80文字すべてに繰り返されます

• リアルイベント → 秘密のメカニズム:経済危機、事故、暗殺、または軍の紛争は、すでに既存のスキームの証拠となります。

個々の事実はとても良いことです。本当の戦略的な緊張がある領域を、よりよく指摘することがよくあります。

•メカニズムははるかに弱い:イベントが発生したという事実は、それが秘密の俳優Beter名によって引き起こされることを立証しません。

• 失敗はしばしば再解釈される:予測が起こらなかった場合、攻撃はキャンセルされた、延期された、または隠蔽されたと仮定される。

•これは、偽りの問題を生じる: パブリックイベント、その不在、およびその否定がすべて確認として解釈できるなら、モデルはテストするのが非常に難しくなる。

6. 10年/ブロックによるバランス

号の範囲	主題	評価
AL1–10	フォード/ロックフェラー、金、Fort Knox、経済。	最もクリーンな故障:ロックフェラー 6月 1975. 実質的な財務上の質問は興味深いままです。
AL11–20	米国水、レギオンナイレス、フェニックスのソ連の武器。	フェニックスは、オープンな技術的なケースです。原子力主張は独立した確認を欠きます。
AL21–30	水兵器、ASAT、コスモスインセプター、Skylab。	ASAT は本物です。Skylab-as-destroyed-in-1977 は後続の履歴によって矛盾しています。
AL31–40	宇宙戦争、ガイアナ/ジョーンズタウン、核戦争I。	大規模な地政学的スキームは成長しますが、秘密のメカニズムの独立した確認は弱くなります。
AL41–50	ロックフェラー、キシンガー、ロボノイド、Skylab。	後で文書化された歴史と最も特定の要求のコライドの多く。
AL51–60	イラン、アフガニスタン、気象戦争、PD-59、ベラ、イラン、イラク戦争。	実際のイベントと、統一された秘密の説明の実質的な層。
AL61–70	Reagan、金、コロンビア、Sadat、連邦準備区。	Sadat は強い一時的なヒットです。コロンビアは強い負のテストです。
AL71–80	Air Florida、シャトル、フォークランド、Pan Am、PROJECT Z、Tylenol。	STS-4 の軍隊のペイロードは実質です; 空気フロリダ/パンアム/17 1982 は強い否定的なテストです。

7. 最も重要なオープンケース

• フェニックス: オリジナルの海軍/NR-1 検索ログ, 回復レポート, ベータの座標との一時的な比較.

• AL66:ノルウェー海で2隻の米国船舶を識別し、その地域の米国海軍の損失/被害をすべて比較する。

• 9月 1977: コスモスの軌道再建 929 そして、すべての関連する米国の衛星.

• 18 10 月 1977 の火球: オブジェクトの独立した識別; Skylab 後の歴史を矛盾することなく説明として使用することはできません。

• コロンビア:STS-1の軌跡、マニフェスト、DD文書、および現代テレメトリーの詳細な監査。

• 165万オンスオブゴールド:彼の解釈を単に採用するのではなく、元のTreasury/FedテーブルからBeterの数学を再構築する。

•キッシンジャーは二重:現代のテレビ記録、写真、タイムスタンプ、および後の伝記記録の法医学的比較。

•ブラウン/ペンタゴン:ベターの主張の内容が正しいかどうかという質問とは別に、手紙と会議の存在を検証する。

8. 本当に強い証拠を構成するもの

• Beterの特定の情報を含むイベントの前に作成されたオリジナルドキュメントまたはログ。

•ベター氏の特定の会議や連絡先を確認する独立した証人。

•正確なオブジェクト、座標、時間、またはペイロードを確認する技術記録。

• ベータアーカイブに依存しない2番目の機関からの文書。

• ベターが緊張の一般的な領域だけでなく、正確な結果と時間 - と予測したケースは、その後、その結果が発生しました。

逆に、イベントが「キャンセル」されたという振り返りの主張自体が証拠ではない。公式バージョンが不完全であるという事実や、イベントが奇妙に見えるという事実もありません。

9. 全体的な結論

AL1–80の後、ベターを理解するための最も正確な方法は、隠されたパワーグループに関する仮説と実際のイベントを組み合わせる広範な代替地政と戦略的なモデルの作者です。 彼の観察の一部は、時折または性的に窒息していた。 彼の最大の主張, しかしながら, 繰り返し後で歴史と衝突するか、独立した確認なしに残っています.

ベターの1981年9月30日は暗殺の6日前である。フェニックスが最も興味深い技術候補は、正確な座標と運用記録の比較を可能にするため、フェニックスです。最もクリーンなネガティブテストは、Skylab、Columbia、Kissinger、17 September 1982です。

最も重要な方法論的教訓は、ベターの信号はベターの説明から切り離さなければならないということです。イベントやトレンドを正しく識別することは、その原因を正しく説明しているとは限りません。

だからこそ、次のフェーズは一般的な読み物ではなく、いくつかのオープンケースに関する深い一次ソース監査であるべきです。

10. ソース

ベータ — メインアーカイブ: https://peterdavidbeter.com/

Beter — オーディオレター 1〜80 インデックス: https://www.peterdavidbeter.com/docs/all/dbaltpcs.html

ベータ — 鳥の目線ビュー: https://www.peterdavidbeter.com/docs/all/dbeye.html

ベータ — AL1: https://www.peterdavidbeter.com/docs/all/dbal01.html

ベータ — AL61-80: https://www.peterdavidbeter.com/docs/all/dbal61.html コース一覧 https://www.peterdavidbeter.com/docs/all/dbal80.html

NASA — シャトルペイロード: https://www.nasa.gov/wp-content/uploads/2024/05/shuttle-payloads-and-experiments.pdf

NASA — 1981年年次報告書: https://www.nasa.gov/wp-content/uploads/2024/01/presrep1981.pdf

NASA — STS-4: https://www.nasa.gov/mission/sts-4/

NASA — Skylab 再エントリー: https://www.nasa.gov/history/40-years-ago-skylab-reenters-earths-atmosphere/

GAO — Fort Knox ゴールド在庫: https://www.gao.gov/products/105954

連邦準備 — 連邦準備法: https://www.federalreserve.gov/frrs/statutes/federal-reserve-act.htm

Reagan Library — 暗黙の試み: https://www.reaganlibrary.gov/reagans/reagan-administration/assassination-attempt-reagan

Reagan Library — Haig の辞任: https://www.reaganlibrary.gov/archives/speech/letter-accepting-resignation-alexander-m-haig-jr-secretary-state

Reagan Library — サダット: https://www.reaganlibrary.gov/archives/speech/proclamation-4872-death-anwar-el-sadat

FRUS — フォークランド: https://history.state.gov/historicaldocuments/frus1981-88v13/d43

NTSB — Air Florida 90: https://www.ntsb.gov/investigations/Pages/DCA82AA011.aspx

FAA — Pan Am 759: https://www.faa.gov/lessons_learned/transport_airplane/accidents/N726DA

FDA — Tylenol: https://www.fda.gov/about-fda/histories-product-regulation/promoting-safe-effective-drugs-100-years

CDC — シアン化物中毒: https://www.cdc.gov/mmwr/preview/mmwrhtml/00001928.htm

11. リーダーのノート

この文書は、過去の分析です。オープンな場合、それは意図的に不確実性を保っている。新しい一次文書が見つかれば、証拠に従って関連するステータスを変更し、文書がBeterの理論を支持するか弱めるかに応じて変更するべきである。

替え玉、ロボトイド、合成人間に関する主張の人名録

英語原版 · PDF

ピーター・デイヴィッド・ベター

替え玉、ロボトイド、合成人間に関する主張の人名録

音声書簡に登場するすり替えの主張を人物別に整理し、その類型を記録する。

本資料はベターが述べた内容を記録し、整理したものである。「ロボトイド」や「合成人間」、人物のすり替えの実在は、独立した資料で裏付けられない限り、歴史的事実とは認められない。ここではベターの語り、独自の用語、時系列を、独立して検証できる証拠と区別する。

1. 三つの類型の違い

人間の替え玉。別人の外見をまねたり、公の場で本人になり代わったりしたとされる実在の人間。ベターは、整形手術や振る舞いの訓練、本人の癖の詳しい観察が行われたと述べる。

有機ロボトイド。ソ連・ロシア側が開発したとベターが主張する人工の生物を指す造語。ベターの説明では、単なる機械ではなく、特定人物の外見や振る舞いを再現するものとされた。

合成人間・合成自動人形。ベターが米国・ボリシェヴィキ側に結び付けた別種の人工生命技術を指す造語。彼は、ロシア側の有機ロボトイド計画への対抗措置だったと述べた。

以上はベター独自の用語であり、現在の科学で確立された分類とは区別される。

2. 人物別の総合索引

氏名・集団名	人数・根拠	番号・識別情報	区分	ベターの主張する出所	音声書簡
Jimmy Carter	16 + 1	No.2–17 有機性ロボノイド;No.18 合成物	ロボトイド＋合成人間	ロシア／ソ連、のちに米国／ボリシェヴィキ	AL 46, 48, 51
Rosalynn Carter	2+	少なくとも2番目。他のカーターファミリーロボイド	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 46, 48
Amy Carter	1+	安定した個人番号なし	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 46
Billy Carter	1+	安定した個人番号なし	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 46
Lillian Carter	1+	安定した個人番号なし	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 46
Hugh Carter	1+	ファミリーグループ	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 46
Walter Mondale	最少 3	複数個数	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 46+
Nelson Rockefeller	2	2つの置換のアイデンティティ	ロボトイド／替え玉	時期によって異なる	AL 42, 46+
David Rockefeller	最少2	No.2 explicit + 以前のダブル	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 46
Laurance Rockefeller	最少 1	二重/取り替え	ロボトイド／替え玉	後期の説明ではロシア／ソ連	AL 42+
ジョージ・S・ブラウン将軍	1 人間 + 失敗した試み	米国ロボットの試みが失敗した;議会で人間2倍	人間の替え玉	米国人の替え玉／CIAによるロボトイドの試み	AL 46
Harold Brown	2	複数;このレジスタの安定した番号無し	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 46, 48
Cyrus Vance	複数個数	No. 3 および第 4 explicit のプラスの前の取り替え	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 46
Zbigniew Brzezinski	1	1つのロボノイド	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 46
Michael Blumenthal	1	1つのロボノイド	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 46
James Schlesinger	1	1つのロボノイド	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 46

氏名・集団名	人数・根拠	番号・識別情報	区分	ベターの主張する出所	音声書簡
Anwar Sadat	1	ロボノイドによる置換	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 46
Menachem Begin	1	ロボノイドによる置換	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 46

氏名・集団名	人数・根拠	番号・識別情報	区分	ベターの主張する出所	音声書簡
Jody Powell	1	より広い取り替えの円の1つのロボノイド	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 46+
Frank Church	1	1つのロボノイド	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 46+
Stansfield Turner	1	1つのロボノイド	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 46+
Barry Goldwater	1	ロボイド公共代表	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 48
Henry M. Jackson	1	ロボイド公共代表	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 48
Malcolm Toon	1	ロボイド公共代表	ロボトイド	ロシア／ソ連	AL 48
Brezhnev	1 人間 + その他(s)	Brezhnev No. 2 人間 ダブル; 後層	人間の替え玉／その他	ロシア／ソ連側の文脈	AL 48
教皇ヨハネ・パウロ2世	2+	俳優は人間の二重をポップします; 後で別のロシアの倍、タイプ不明	人間の替え玉＋不明	ボリシェヴィキ、のちにロシア	AL 42, 46, 55
ベネッリ枢機卿	1+	Bolshevikダブル、その後、別のダブル	人間／不明	ボリシェヴィキ、のちにロシア	AL 46
イランのシャー	1	ベータによるDavid Frostのインタビューの合成	合成人間	米国／ボリシェヴィキ	AL 53
アヤトラ・ホメイニをめぐる暗殺事件／襲撃者の替え玉	1	前の登録に従って人員の倍	人間の替え玉	特定されていない	ALシリーズ
米連邦最高裁判所の判事	9	グループクレーム: ロボイド置換として全9名	ロボトイド	ロシア／ソ連	ALシリーズ

3. Jimmy Carter — 最も明示的に数えられたシーケンス

ベターのカーターの物語は珍しい詳細です。 AL 46では、カーターNo.2とNo.3がロシアオーガニックロボイドであったことを、カーターの交換と状態のシーケンスについて説明しています。 後続のシーケンスは、番号付きカーターのアイデンティティによって展開されます。

AL 51 では、ベターは、有機ロボットの代わりに別の合成物として、カーター No. 18 を記述します。 これは、2つの人工技術を区別するBeterのオーディオレターの中で最も明確な例です。

この記録は、16個の有機ロボット(2-17番)と、18番合成をベターの番号付け方式として記録している。これは、17の代替体が実際に存在していたという独立に検証された証拠と解釈されるべきではありません。

4. Cyrus Vance — 数式ロボット

AL 46 は、米国上級者のための番号付き置換識別の最も明確な例の 1 つを提供します。 Beter は、Vance No. 3 と Vance No. 4 を含む Cyrus Vance の置換を指し、以前の置換活動についても説明しています。

そのため、連結レジスタは、明示的な番号付きIDを超えて正確な合計を強制するのではなく、複数を使用する。

5. カルターファミリー

Beter の AL 46 アカウントは、Jimmy Carter を超える置換の物語を拡張します。 彼はロザリン・カーター、アミー・カーター、ビリー・カーター、リリアン・カーター、ヒュー・カーターを割り当てられた交換物の間で名付けました。 オーディオレターは、家族全員に安定した、完全な数値レジスタを提供していないため、テーブルは正確なカウントを発明するのではなく「1+」を使用します。

6. 政治・軍事関係者

Beterのアカウントは、米国政府および国家安全保障施設全体でオーガニックロボイドを置きます。 連結レジスタに表示される名前のなかには、ウォルター・モンデール、ネルソン・ロックフェラー、デビッド・ロックフェラー、ローランス・ロックフェラー、ハールド・ブラウン、サイラス・ヴァンス、ジビニー・ブゼジンスキー、マイケル・ブルーメンタール、ジェームズ・シュレッサー、アンワー・サダット、メンハニーム・ベギン、ジョディ・パウエル、フランク・チャーチ、スタンスフィールド・ター、バリー・ゴールド、ヘンリー・ム、マコール・トゥーン。

ゼネラル・ジョージ・S・ブラウンは特別なケースです。ベターは、米国で失敗したと述べた。ブラウンのロボットイドを生成し、人間の二重に従うことを試みました。 したがって、ロシアオーガニックロボットの主張とは別に分類されます。

---

7. バチカンとポピー・ジョン・パウロII

オーディオレターのバチカンの物語は、オーディオレター間で変化します。 AL 42 は俳優としてポピー・ジョン・パウロ II を説明し、人間を主張しました。 その後の素材は、別のロシアの交換を記述し、後者の図が人間の二重であるか、またはロボノイドであるかを常に指定しません。

したがって、レジスタは意図的に2+を使用し、人間二重相と後者のより明確には指定されていない位相を区別する。ベネリ枢機卿も同様に扱われる。

8. 米国最高裁 — グループクレーム

また、米国最高裁判所の9人のメンバーに関するグループレベルの主張を行いました。 レジスタレコードは9つの割り当てられたロボットの交換としてこれを記録しますが、根本的な材料がそれらを提供しない個々の交換番号を割り当てる試みはしません。

9. イランのシャイン

AL 53 では、ベターは、David Frost インタビュー中にシャとして提示された人物がシャインではなく、合成 Automaton であったと主張しました。 ロシアオーガニックロボイドプログラムと密接に対峙する技術。

10. 方法論のカウント — 全体が約56〜57である理由

単純な算術の合計は誤解を招く理由は、ベターは時々、番号を連続した置換を数えたが、他の場所では、個人番号を割り当てない人々のグループを説明したからである。さらに、いくつかのアイデンティティは複数の技術フェーズに現れます。

したがって、現在の連結レジスタは、繰り返し番号付き置換、家族、グループクレーム、および後の置換層が別々のケースとしてカウントされるかどうかに応じて、およそ56-57置換ID/証拠ケースとして理解されるべきである。

これは、56-57の代替品が歴史的に証明されているという主張ではない。現在のBeter-sourceレジスタに記載されているケースの簿記見積もりです。

11. 最終候補 AL 1–80 マスターレジスタ

最終版では、次のステップはオーディオレター1-80をカバーする文字単位マスターレジスタです。各エントリは、(1)オーディオレター番号、(2)日付、(3)人名、(4)ベターの主張の正確な表現、(5)コピー番号が与えられた場合、(6)クレームタイプ、(7)クレームの起源、(8)交換に関連するイベント/日付、(9)独立した履歴記録、および(10)証拠ステータスを含む必要があります。

この構造により、プロジェクトは3つの異なる質問を識別することができる:Beterが実際に何を言ったか、現代の公的記録が何を示しているか、そして両者が和解するか、矛盾しているか、解決されないか。

12. 出典・著書

分類のために相談された主なベター資料は、出版されたベターブックとオーディオレターインデックスとともに、オーディオレター42、46、47、48、51、53、55、63、70が含まれます。

コアソースアーカイブはpeterdavidbeter.comでホストされている。この文書のクレームは、独立したソースが明示的に引用されていない限り、Beterに帰される。

この文書は法医学研究記録であり、ベターの主張が歴史的事実であるとの宣言ではない。

スロバキア法医学分析版に英語版として準備。

バージョン3 - 統合レジスタ

Geminiによる100の仮説の検証（英語版全2ページ）

Geminiによる100の仮説の検証（英語版全2ページ）

ピーター・デイヴィッド・ベターによる音声書簡（1975〜1982年）。

100の仮説を検証した分析。実際の出来事、時期を指定した予測、秘密の仕組みについての主張、史実との食い違いを取り上げる。

作成者表記は「独立検証」。対象は1975年6月〜1982年11月の音声書簡第1〜80号。版の日付は2026年9月26日。

検証項目	確認された事実	反証された主張	独立した裏付けがない項目
100	33	21	46

1. 要約と分析の枠組み

本検証は、音声書簡第1〜80号を再構成し、ベターの活動を方法論的に整理している。報告によれば、彼は陰謀を語るだけの著述家ではなく、ワシントンの政界や金融界に通じた論評者でもあった。現実の地政学・経済情報を、公に検証できない仮説と組み合わせたという。

80本の録音を分析すると、ベターの語りには四つの層が見られる。

1. 実在した重要な出来事（GREEN）。ベターは当時の報道やマクロ経済の圧力をよく把握していた。例としてニューヨーク市の危機、インフレ、金をめぐる協定、PD-59、NATOの演習が挙げられる。

2. 時期や主題が注目すべき形で一致した例（GREEN / YELLOW）。第68号（1981年9月30日）でベターはアンワル・サダト暗殺の危険を明言し、同年10月6日に暗殺が起きた。

3. 推測に基づき裏付けを欠く秘密の仕組み（BLACK / BLUE）。「心理的プログラミング」、戦争に反対する秘密クーデター、表に出ない工作などの主張を含む。

4. 外れた具体的な予測と史実との矛盾（ORANGE / RED）。核攻撃を1982年9月17日15時（米東部夏時間）とした第78号のほか、1977年のスカイラブ破壊、1981年のコロンビア破壊、キッシンジャーや教皇が替え玉やロボトイドと入れ替わったとする主張が挙がる。

2. 検証の方法と証拠の分類

この検証では、出来事が起きたこととベターが述べる因果の仕組みを区別する。100の検証項目を次の基準で判定した。

原資料の判定	評価	判定の根拠
GREEN	独立した資料で確認できた事実	イベントは、プライマリ文書、NASAアーカイブ、NTSB、GAO、または状態の条約によって独立して確認されます。
YELLOW	一部のみ確認、または解釈が分かれる	実質的に存在しますが、関与の特定の詳細や程度はより深いアーカイブ調査を必要とします。
BLUE	証拠が足りず結論は保留	独立した確認が欠けている特定の要求が、技術的にテスト可能です。
ORANGE	予測が外れた、または期限が過ぎた	指定された日付と時刻で発生しなかった正確な時間定義予測。
RED	現存する資料と矛盾する	主張は、物理的な歴史、文書化された伝記、または物理的な証拠を直接矛盾します。
BLACK	ベター自身の解釈で、独立した裏付けがない	秘密の背景に関するベター個人の解釈であり、独立して検証する方法がない。

3. 100の検証項目から選んだ主な事例

番号 / AL	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
1 (AL1-2)	1975年6月までにロックフェラーがフォードに代わって大統領になる。	ORANGE	フォードは大統領を保ち、AL2はその後、用語の解釈を変更しました。
2 (AL1-2)	Fort Knox は、金を密かに満たしていた	RED	GAOの報告書(1974-1977)は、物理的な存在と適切な制御を確認します。
8 (AL17)	AIM-54 フェニックスミサイルシステムの損失 F-14	GREEN	米国海軍の記録は、事件と検索操作を確認します。
15 (AL27)	Skylabはソ連のインターセプターによって9月1977で破壊されました	RED	物理的な歴史は、オーストラリアに11、1979 7月にのみSkylab再入国を確認しています。
22 (AL43)	Henry Kissinger が殺され、二重に置換された	RED	2023年に亡くなるまで、不断もなく公生活を続けた。

番号 / AL	主張・検証事項	原資料の判定	判定の根拠
34 (AL57)	大統領指令PD-59が存在している	GREEN	全国のセキュリティアーカイブに7月1980の主要文書が存在します。
43 (AL62)	コロンビア STS-1 はスパイ レーザー衛星を運びました	RED	NASA は、STS-1 をペイロードで開発飛行として識別します: デプロイできません。
50 (AL68)	サダット(9月30、1981)のアサイン	GREEN	暗殺の6日前(6、10月、1981)、行動は、致命的なリスクを正確に特定しました。
58 (AL75)	STS-4 は分類された軍隊の DoD のペイロードを持っていました	GREEN	正式なNASA文書は、現在、分類されたDoDペイロードを明示的に確認します。
63 (AL78)	PROJECT Z:9月17、1982での核攻撃15:00 EDT	ORANGE	攻撃は起こりませんでした。 AL79 以降は、予定時刻の 5 時間前に呼び出されたと主張しました。
68 (AL80)	タイレノールにシアン化物が混入された（1982年、シカゴ）。	GREEN	CDCとFDAは犠牲者7人と、その後に改ざん防止包装が導入されたことを確認している。

4. 事例の詳しい検討

事例A　アンワル・サダトの暗殺（第68号と実際の経緯）

予測と合致した点。1981年9月30日、ベターは第68号を発表し、エジプトの政治状況からサダト大統領の暗殺が迫っていると警告した。10月6日、サダトはカイロで軍事パレードに出席中に暗殺された。

検証結果。シリーズ全体でも特に時期が合致した例である。ベターは治安上の緊張と脅威を正確に捉えた。ただし「実行犯が心理的にプログラムされた」という説明は、エジプト検察やCIAの入手可能な捜査資料に裏付けがない。

事例B　スペースシャトル・コロンビアとSTS計画（第62〜64号とNASAの記録）

ベターの主張。コロンビアはSTS-1の飛行中にソ連上空の宇宙戦で破壊され、NASAが試験用の機体エンタープライズとひそかにすり替えたという。

検証結果。物的証拠と直接矛盾する。コロンビアはその後も22年間飛行し、計28回の宇宙飛行を行った。実際に失われたのは2003年のSTS-107事故である。一方、第75号にある「シャトル計画は米国防総省の軍事目的にも使われた」という一般的な指摘は裏付けられた。STS-4は同省の機密ペイロードを搭載していた。

5. 心理的・叙述的なパターンの批判的検討

全編を通じて、情報の扱い方には繰り返される型がある。

実際の出来事・危機 → 秘密の主体への帰属 → 破局の予測 → 予測が外れた後の再解釈

この型には、どのような結果が出ても説明を退けられないという反証可能性の問題がある。

出来事が起きると、ベターは自分の見立てが正しく、秘密の仕組みが働いたと説明する。

起きなければ、自分の事前警告または舞台裏の勢力が土壇場で攻撃を防いだと述べる。第79号における「プロジェクトZ」の説明はその一例である。

6. 結論と今後の研究への提案

ベターは、独自の地政学モデルを示す膨大な記録を残した。本報告は、彼を手掛かりの収集と公開情報の分析に長けた人物と評する一方、その解釈には、出来事の成り行きを陰謀だけで説明しようとする強い傾向があったと結んでいる。

報告は、今後の研究を次の四つの技術的な未解決事例に絞るよう提案している。

AIM-54フェニックスの捜索（第17号）。ベターの座標を、深海潜航艇NR-1の機密解除された記録と照合する。

ノルウェー海での損失に関する主張（第66号）。1981年7月の米海軍資料と照合する。

金会計の食い違い（第67号）。米財務省と連邦準備制度の表を使い、ベターの計算を再現する。

1979年のヴェラ事件（第57号）。ベターの粒子ビーム説を、カーター大統領図書館の機密解除資料と比較する。